U Walker II ユーウォーカー 2

TAKANO HeartWorks

TW-320

メンテナンスマニュアル

Rev.3.0（2025.8.28）

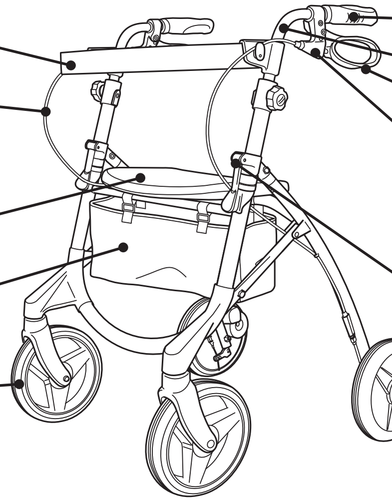
本書は、U Walker II の保守対象部品の交換方法について説明しています。本書をよくお読みになり、正しく交換してください。

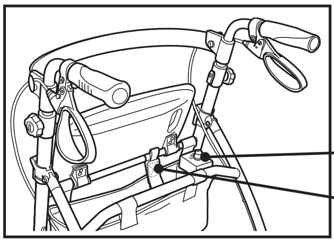
保守対象部品

○ハンドルグリップ	○速度制御ユニット	○背もたれ
○ハンドルフレーム	○後輪タイヤ	○座
○ブレーキレバー・パーキングロック	○後輪タイヤ一式	○バッグ
○ブレーキレバー一式	○ブレーキドラム	○各種シール
○ブレーキワイヤー	○前輪	○締結部品・キャップ類

上記の部品は、販売店・代理店、またはタカノお客様ご相談窓口から手配してください。
上記以外の部品の破損・交換は、タカノ株式会社への修理依頼となります。
別紙にて品番一覧表をご用意しています。

保守対象部品とページ





背もたれの交換 43
ブレーキワイヤーの交換 16
ブレーキワイヤーの調整方法 23
座の交換 45
バッグの交換 47
前輪の交換 40
各種シールの貼り付け 49
締結部品・キャップ類の交換 51
本体のお手入れ・保管方法 69
お問い合わせ 70
4 ハンドルグリップの交換
52 ハンドルフレームの交換
6 ブレーキレバー パーキングロックの交換
11 ブレーキレバー一式の交換
25 ブレーキの調整方法
65 脚開閉レバーの交換
31 後輪タイヤの交換
33 後輪タイヤ一式の交換
59 後輪ﾀｲﾔ取付ﾅｯﾄの交換
2 後輪に異音が発生したときは…
27 速度制御装置ﾕﾆｯﾄの交換
68 脚固定ベルトの取付
60 後輪ギヤの交換
62 ブレーキドラムの交換

タカノお客様ご相談窓口 フリーダイヤル 0120-825-845
（受付時間 土日祝日除く 月～金曜日 9:00 ～ 17:00 携帯電話からもご利用いただけます。）
※混雑時にはつながりにくい場合があります。時間をおいてからお掛け直しください。

心を形にするテクノロジー、あります。
TAKANO HeartWorks.

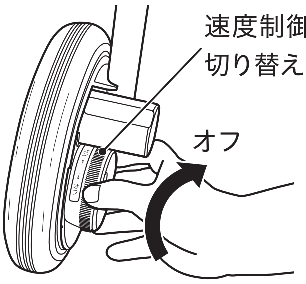
後輪に異音が発生したときは… 1/2

後輪を回転させると異音（カタカタ音）がするときは、ブレーキワイヤーがゆるみ、ブレーキパッド部のロックピンがロック溝に接触していることが考えられます。

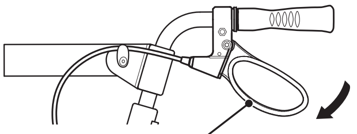
調整手順

以下の手順に従い、ブレーキワイヤーの張りを調整してください。

1 **速度制御機構をオフにします。**
速度制御機構切り替えダイヤルを回し、矢印の位置に「オフ」の表示を合わせます。



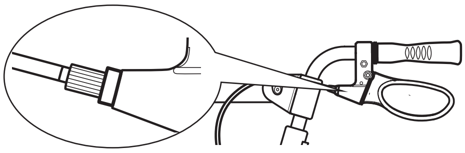
2 **ブレーキレバーを下に押し、パーキングブレーキをかけます。**



> 後輪を確実にロックしてください。

3 **ブレーキブラケットのねじを閉め切ります。**

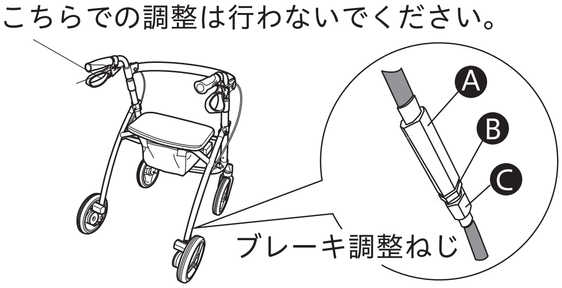
> 図の部分でのブレーキ調整は行わないでください。(ネジは図のように、通常は閉め切ってください。)



TAKANO HeartWorks

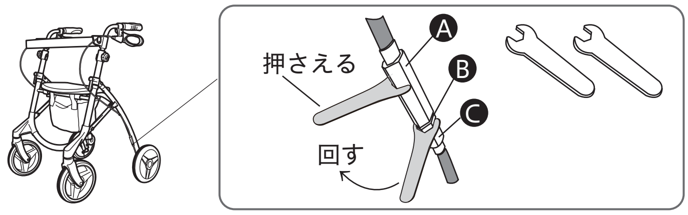
後輪に異音が発生したときは… 2/2

4 **調整ナットと調整ねじを回し、ブレーキのきき具合を調整します。**

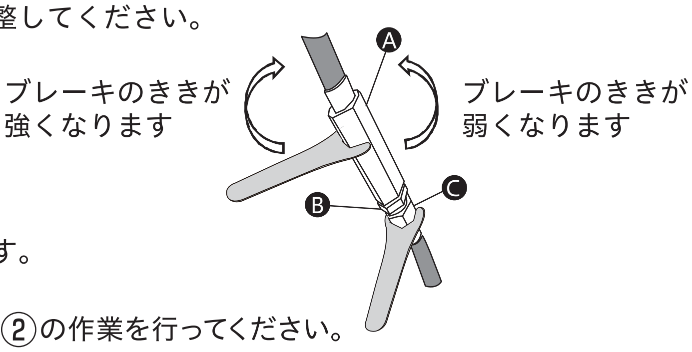


調整は図のブレーキ調整ねじで行います。

① Ⓐを押さえながら、Ⓑを矢印の方向に回し（時計回り）Ⓑをゆるめます。
（付属のスパナをご利用ください。）



② 調整ねじを回してブレーキの強さを調整してください。

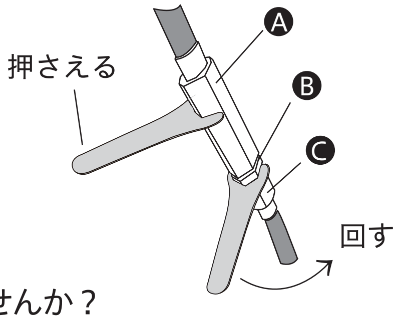


③ パーキングブレーキを解除し、
後輪を回転させ異音の解消を確認します。

異音がなくなるまで、手順①から手順②の作業を行ってください。

5 **調整がすんだら、Ⓐを押さえながらⒷを矢印の方向（反時計回り）に回して固定してください。**

必ず付属のスパナを
使って固定してください。



チェックリスト

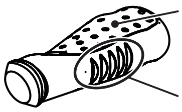
☐ 本体を押して歩いてみて、異音（カタカタ音）がしませんか？

症状が改善しない場合は、ブレーキワイヤーを調整します（22 ページ参照）。

これで作業完了です

ハンドルグリップの交換　1/2

交換対象品

品名	数量	備考
□ ハンドルグリップ（左用(L) ／右用(R)）	1	以下の図は左用のものです。 
□ パイプエンドキャップ	1	

準備するもの

□ カッターナイフ
□ 石けん水（準備できない場合は水で代用）
□ あて木
□ ハンマー
□ スチール定規、マイナスドライバーなど、先端が薄く固いもの

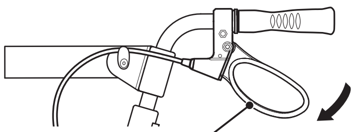
交換手順

以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

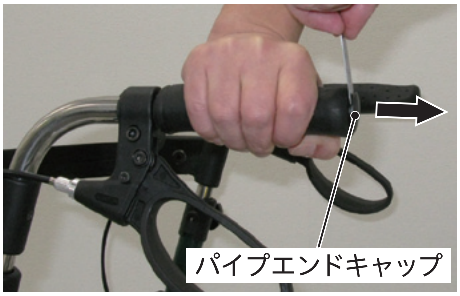
1 新しいハンドルグリップを、お湯につけるなどして温めておきます。

2 ブレーキレバーを下に押し、パーキングブレーキをかけます。



■ ハンドルグリップの取り外し

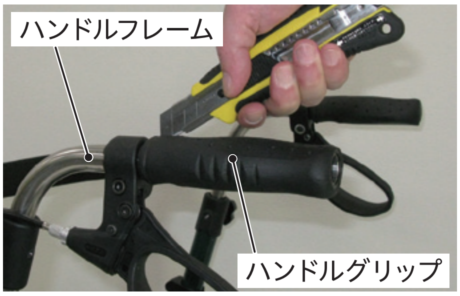
1 パイプエンドキャップをスチール定規などで取り外します。



TAKANO HeartWorks

ハンドルグリップの交換 2/2

2 交換するハンドルグリップをカッターナイフで切り、ハンドルフレームから取り外します。



⚠注意

> ❗ カッターナイフでけがをしないように注意してください。

■ ハンドルグリップの取り付け

1 新しいハンドルグリップの内側を石けん水で充分にぬらし、ハンドルフレームに取り付けます。

> ❗ ハンドルグリップには、左用と右用があります。取り付ける前に、左右を確認してください。

2 ハンドルグリップの端部にあて木をし、ハンマーで叩いて端部まで押し込みます。

3 新しいパイプエンドキャップを取り付けます。

4 ハンドルグリップの内側の石けん水を自然乾燥させます。

石けん水は、約１日で乾きます。

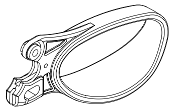
チェックリスト

☐ 握ったときにハンドルグリップがしっかり固定されていますか?

これで作業完了です

ブレーキレバー・パーキングロックの交換　1/5

交換対象品

品名	数量	備考
□ ブレーキレバー （左用(L)／右用(R)）	1	左右共用です。 
□ 六角穴付皿ボルト	1	
□ ナット	1	
□ ブレーキバネ	1	
□ パーキングロック	1	
□ スプリングピン	1	

準備するもの

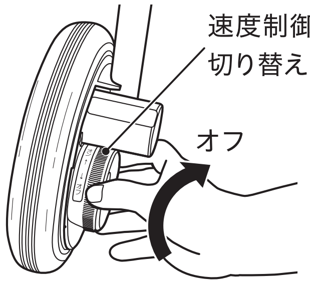
□ 六角レンチ（対辺 4mm）
□ 六角レンチ（対辺 5mm）
□ 六角レンチ（対辺 2.5mm）
□ ハンマー

交換手順

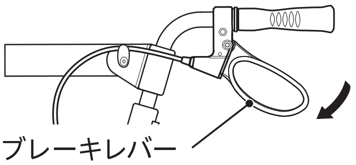
以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

1　速度制御機構をオフにします。
速度制御機構切り替えダイヤルを回し、
矢印の位置に「オフ」の表示を合わせます。



2　ブレーキレバーを下に押し、パーキング
ブレーキをかけます。



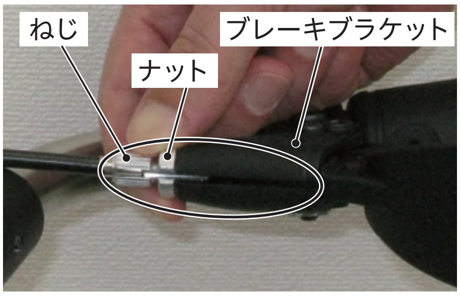
ブレーキレバー・パーキングロックの交換　2/5

■　ブレーキレバーの取り外し

1　**ブレーキワイヤーがワイヤーガイドから外れるように、ワイヤーガイドのねじを六角レンチ（外側：対辺 4mm、内側：対辺 5mm）でゆるめます。**

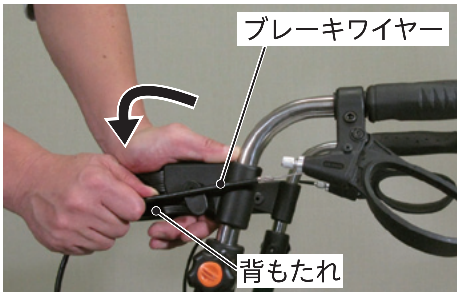
ねじは完全に取り外さないでください。

2　**ブレーキブラケットからブレーキワイヤーを取り外すことができるよう、ブレーキブラケットの下側のスリットとねじのスリットを一直線上に揃えてください。**

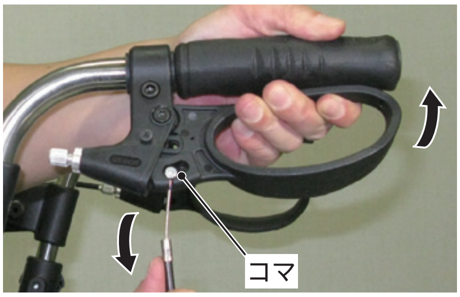


ねじは、できるだけブレーキブラケット側へ締めてください。

3　**ブレーキワイヤーを背もたれ側に引っ張りながら、ブレーキブラケットから取り外します。**



4　**ブレーキレバーを握りながら、ブレーキワイヤーをスリットに沿わせ、ワイヤーエンドのコマ（左のブレーキレバー：外側、右のブレーキレバー：内側）を取り外します。**



ブレーキレバー・パーキングロックの交換　3/5

5　**ブレーキブラケットの、右の図に丸印で示した六角穴付皿ボルトとナットを六角レンチ（対辺 4mm）で取り外します。**

6　**ブレーキレバーを取り外します。**

⚠注意

ブレーキレバーを取り外すときは、ブレーキバネの飛び出しに注意してください。
けが・紛失の原因となります。

■ パーキングロックの交換

1　**ブレーキバネを取り外します。**

2　**スプリングピンを抜き取ります。**
六角レンチ（対辺2.5mm）の先端をスプリングピンに当てて、ハンマーで叩いていくと抜けます。

← スプリングピン

ブレーキレバー・パーキングロックの交換　4/5

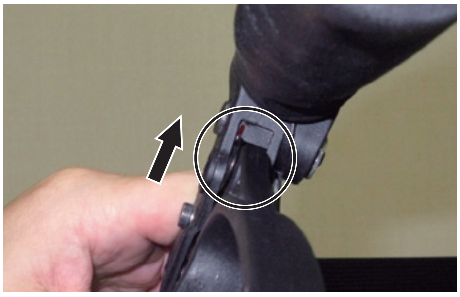
3　パーキングロックを抜き取り、
新しいパーキングロックを入れます。

4　新しいスプリングピンをハンマーで、
打込みます。

■　ブレーキレバーの取り付け

1　新しいブレーキレバーの溝に、新しいブレーキバネをセットします。

2　右の図に丸印で示したブレーキブラケットのくぼみにブレーキバネを引っ掛けながら、
新しいブレーキレバーを押し込みます。



3　六角レンチ（対辺 4mm）で新しい六角穴付皿ボルトおよびナットを締め、
ブレーキブラケットにブレーキレバーを取り付けます。

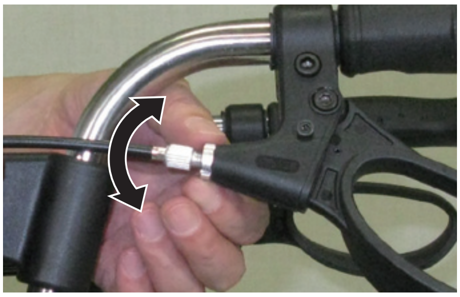
> **!** 六角穴付皿ボルトとナットは、ブレーキレバーが動く程度（0.5N・m）に締めてください。

ブレーキレバー・パーキングロックの交換　5/5

4　ブレーキレバーを握りながら、ワイヤーエンドのコマを取り付けます。

5　ブレーキレバーを下げ、ブレーキワイヤーをスリットに沿って差し込みます。

6　ブレーキのきき具合を調整します。
（24 ページを参照）



7　ブレーキの動作を確認します。

□後輪を手で回してみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?
□ブレーキレバーを離すと、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
□ブレーキレバーを下に押すと、パーキングブレーキがかかりますか?
□ブレーキレバーを握ると、パーキングブレーキが解除されますか?

8　ワイヤーガイドでブレーキワイヤーをはさみ、六角レンチ（外側：対辺 4mm、内側：対辺 5mm）でねじを締めます。

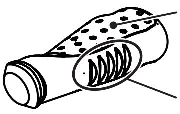
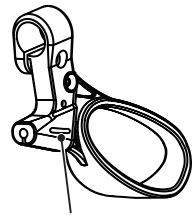
チェックリスト

□ 本体を押して歩いてみて、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
□ 本体を押して歩いてみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?
□ ブレーキレバーを下に押すと、パーキングブレーキがかかりますか?

これで作業完了です

ブレーキレバー一式の交換　1/5

交換対象品

品名	数量	備考
□ ハンドルグリップ（左用(L)／右用(R)）	1	以下の図は左用のものです。 
□ パイプエンドキャップ	1	
□ ブレーキレバー一式（左用(L)／右用(R)）	1	以下の図は左用のものです。 

ブレーキレバー一式を交換する場合は、ハンドルグリップの交換も必要です。

準備するもの

- □ 六角レンチ（対辺 4mm）
- □ 六角レンチ（対辺 5mm）
- □ カッターナイフ
- □ 石けん水（準備できない場合は水で代用）
- □ あて木
- □ ハンマー
- □ スチール定規、マイナスドライバーなど、先端が薄く固いもの

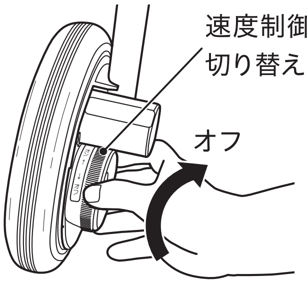
交換手順

以下の手順に従い、部品を交換してください。

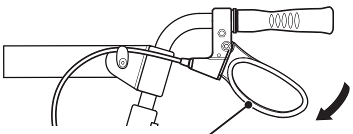
■ 交換の準備

1　**新しいハンドルグリップを、お湯につけるなどして温めておきます。**

2　速度制御機構をオフにします。
速度制御機構切り替えダイヤルを回し、
矢印の位置に「オフ」の表示を合わせます。

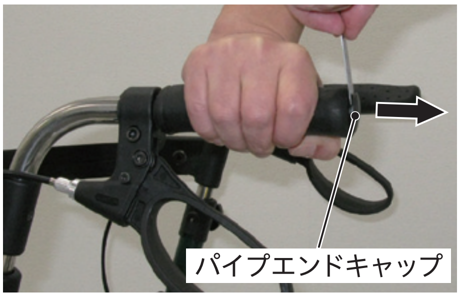


3　ブレーキレバーを下に押し、パーキング
ブレーキをかけます。

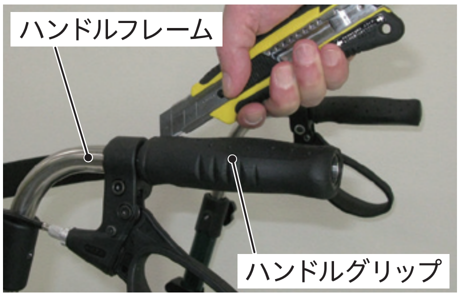


■ ブレーキレバー一式の取り外し

1　パイプエンドキャップをスチール定規など
で取り外します。



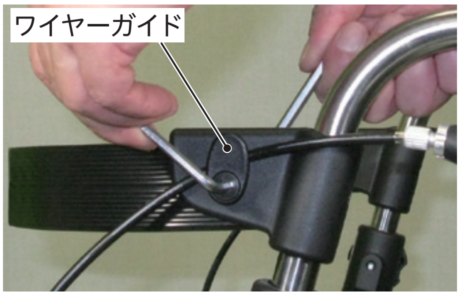
2　ハンドルグリップをカッターナイフで切り、
ハンドルフレームから取り外します。



⚠注意

> カッターナイフでけがをしないように
> 注意してください。

3　ブレーキワイヤーがワイヤーガイドから外
れるように、ワイヤーガイドのねじを六
角レンチ（外側：対辺 4mm、内側：対辺
5mm）でゆるめます。

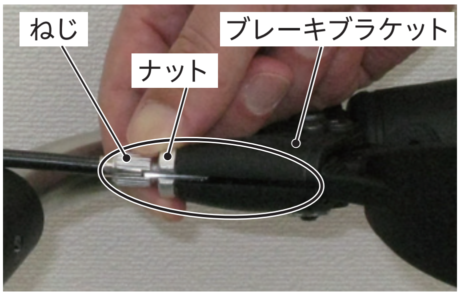


ねじは完全に取り外さないでください。

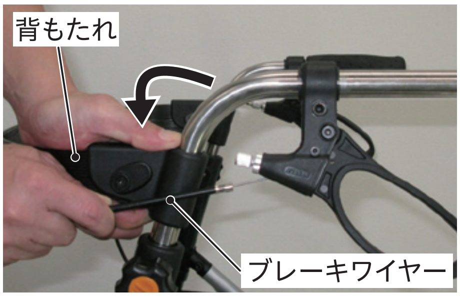
ブレーキレバー一式の交換

4 ブレーキブラケットからブレーキワイヤーを取り外すことができるよう、ブレーキブラケットの下側のスリットとねじのスリットを一直線上に揃えてください。

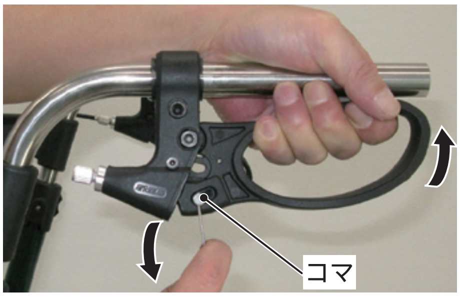
ねじは、できるだけブレーキブラケット側へ締めてください。



5 ブレーキワイヤーを背もたれ側に引っ張りながら、ブレーキブラケットから取り外します。



6 ブレーキレバーを握りながら、ブレーキワイヤーをスリットに沿わせ、ワイヤーエンドのコマ（左のブレーキレバー：外側、右のブレーキレバー：内側）を取り外します。



7 ブレーキブラケットの、右の図に丸印で示したボルトを六角レンチ（対辺 5mm）でゆるめます。

8 ハンドルフレームからブレーキレバー一式を取り外します。

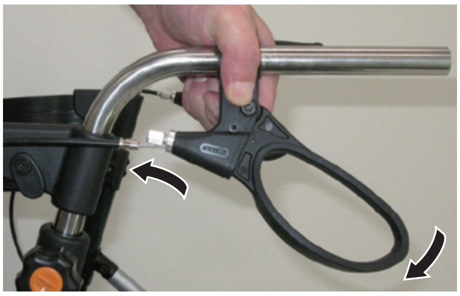
ブレーキレバー一式の交換 4/5

■ ブレーキレバー一式の取り付け

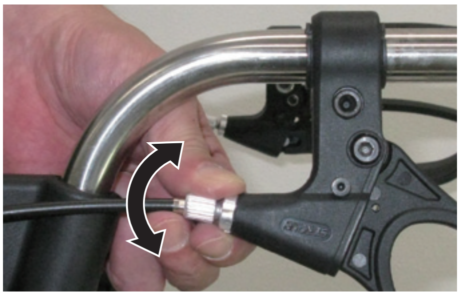
1 ハンドルフレームに新しいブレーキレバー一式を取り付けます。

2 ブレーキレバーを握りながら、ワイヤーエンドのコマを取り付けます。

3 ブレーキレバーを下げ、ブレーキワイヤーをスリットに沿って差し込みます。



4 ブレーキのきき具合を調整します。
（24 ページを参照）



5 ブレーキの動作を確認します。

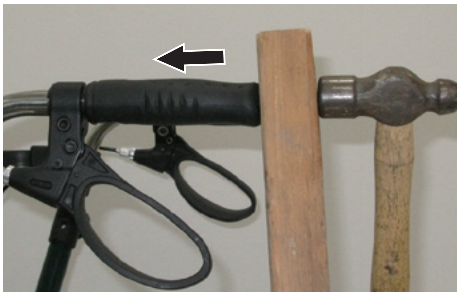
□後輪を手で回してみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか？
□ブレーキレバーを離すと、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか？
□ブレーキレバーを下に押すと、パーキングブレーキがかかりますか？
□ブレーキレバーを握ると、パーキングブレーキが解除されますか？

6 ワイヤーガイドでブレーキワイヤーをはさみ、六角レンチ（外側：対辺 4mm、内側：対辺 5mm）でねじを締めます。

7 **新しいハンドルグリップの内側を石けん水で充分にぬらし、ハンドルフレームに取り付けます。**

> ❗ ハンドルグリップには、左用と右用があります。取り付ける前に、左右を確認してください。

8 **ハンドルグリップの端部にあて木をし、ハンマーで叩いて端部まで押し込みます。**



9 **新しいパイプエンドキャップを取り付けます。**

10 **ハンドルグリップの内側の石けん水を自然乾燥させます。**

石けん水は、約１日で乾きます。

チェックリスト

- ☐ 本体を押して歩いてみて、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか？
- ☐ 本体を押して歩いてみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか？
- ☐ ハンドルグリップがしっかり固定されていますか？

これで作業完了です

ブレーキワイヤーの交換　1/7

交換対象品

品名	数量	備考
□ ブレーキワイヤー	1	
□ エンドキャップ	1	
□ 取付クリップ	2	

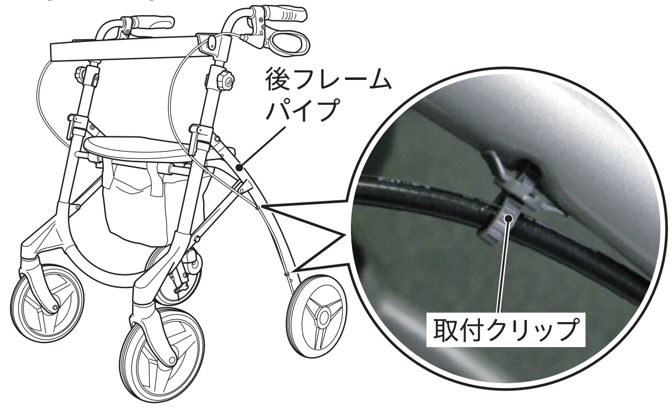
準備するもの

- □ 六角レンチ（対辺 3mm）
- □ 六角レンチ（対辺 4mm）
- □ 六角レンチ（対辺 5mm）
- □ ペンチ（クリッピングプライヤーも可）
- □ ニッパー
- □ 付属品スパナ（対辺8mm）
- □ マイナスドライバーなど

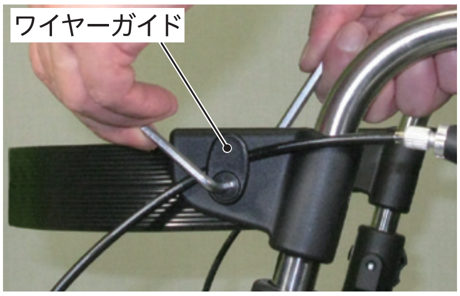
ブレーキワイヤーの交換　2/7

■ ブレーキワイヤーの取り外し

1 **後フレームパイプの取付クリップ（2 箇所）をペンチで引き抜きます。**

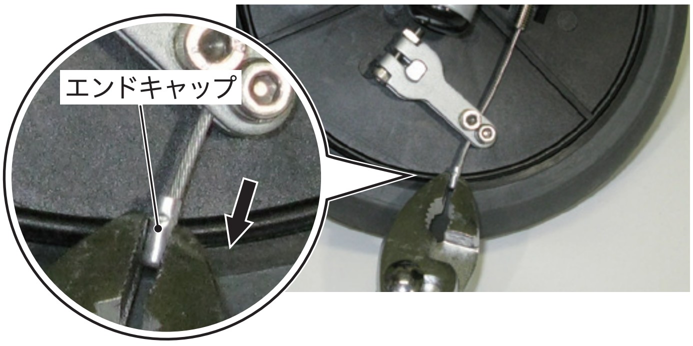


2 **ブレーキワイヤーがワイヤーガイドから外れるように、ワイヤーガイドのねじを六角レンチ（外側：対辺 4mm、内側：対辺 5mm）でゆるめます。**



ねじは完全に取り外さないでください。

3 **ブレーキワイヤーのエンドキャップをペンチで引き抜きます。**

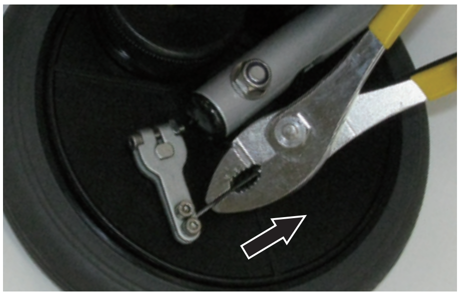


4 **後輪内側のワイヤー押さえのボルト（2 箇所）を六角レンチ（対辺 3mm）でゆるめます。**

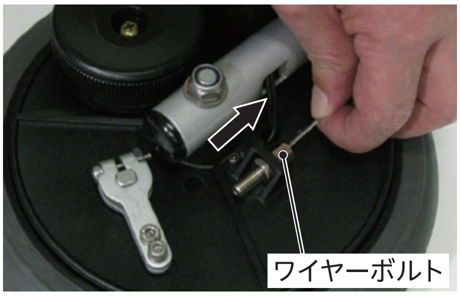
ボルトは完全に取り外さないでください。

5 **ワイヤー押さえからブレーキワイヤーをペンチなどで引き抜きます。**

マイナスドライバーなどでワイヤー押さえを広げると、スムーズに引き抜くことができます。

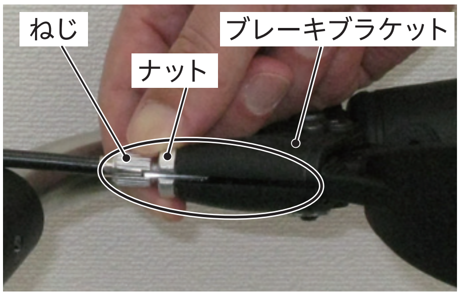


6 **後輪内側のワイヤーボルトからブレーキワイヤーを引き抜きます。**

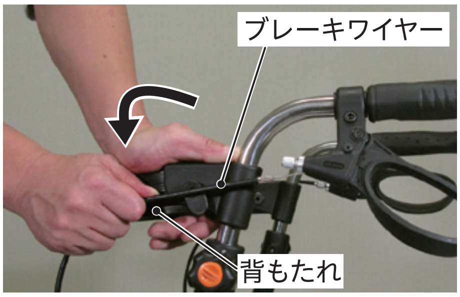


7 **ブレーキブラケットからブレーキワイヤーを取り外すことができるよう、ブレーキブラケットの下側のスリットとねじのスリットを一直線上に揃えてください。**

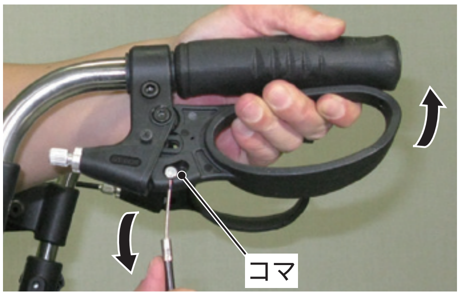
ねじは、できるだけブレーキブラケット側へ締めてください。



8 **ブレーキワイヤーを背もたれ側に引っ張りながら、ブレーキブラケットから取り外します。**



9 **ブレーキレバーを握りながら、ブレーキワイヤーをスリットに沿わせ、ワイヤーエンドのコマ（左のブレーキレバー：外側、右のブレーキレバー：内側）を取り外します。**

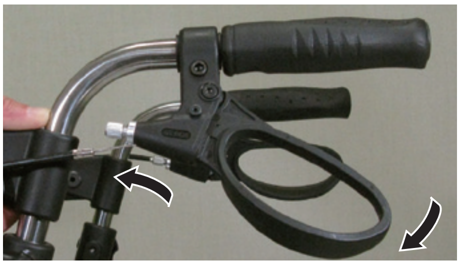


ブレーキワイヤーの交換　4/7

■ ブレーキワイヤーの取り付け

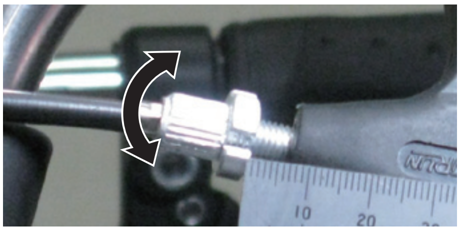
1 **ブレーキレバーを握りながら、新しいブレーキワイヤーのコマを取り付けます。**

2 **ブレーキレバーを下げ、ブレーキワイヤーをスリットに沿って差し込みます。**



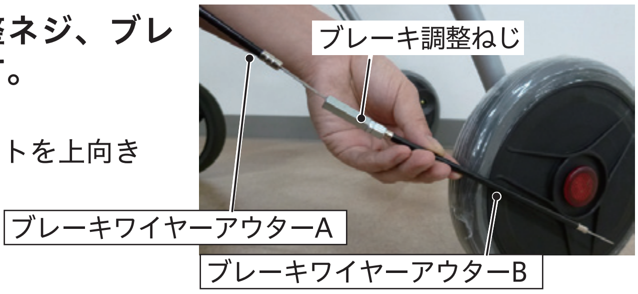
3 **ブレーキブラケットのねじを回し、ブレーキブラケットから約 4mm 離します。**

約 4mm 離しておくことで、あとでブレーキの調整がしやすくなります。

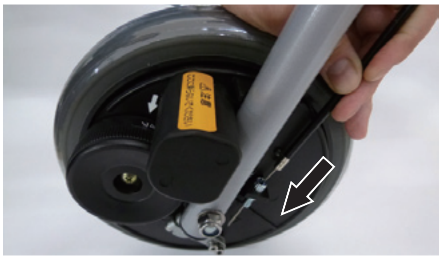


4 **ブレーキワイヤーをブレーキ調整ネジ、ブレーキワイヤーアウターに通します。**

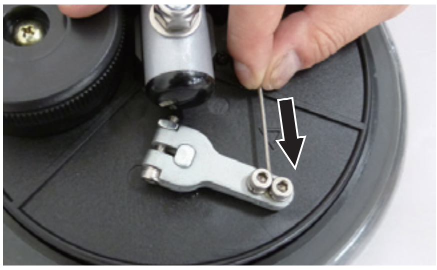
ブレーキ調整ねじは長い方のセットを上向きにしてください。



5 **後輪内側のワイヤーボルトにブレーキワイヤーを通します。**



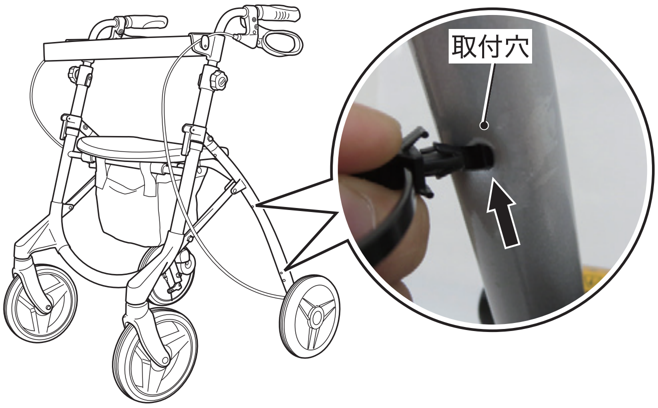
6 **後輪内側のワイヤー押さえにブレーキワイヤーを通します。**



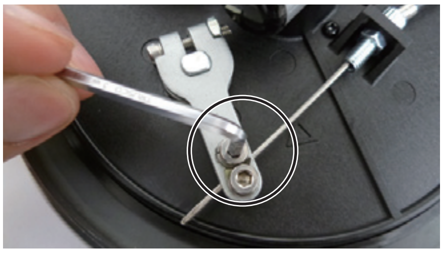
7 ブレーキワイヤーに新しい取付クリップをきつく巻き付けます（2 箇所）。

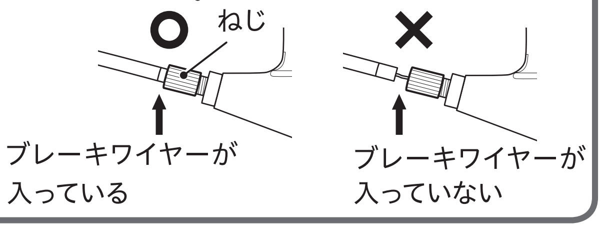
8 取付クリップの余った部分をニッパーで切ります（2 箇所）。

9 後フレームパイプの取付穴に、取付クリップをカチッと音がするまで差し込みます(2 箇所)。



10 ワイヤー押さえのボルト（2 箇所）を六角レンチ（対辺 3mm）で締めます。

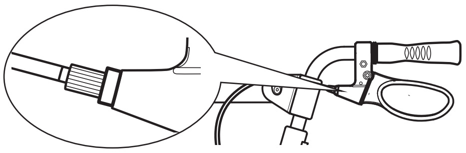


> **!** ブレーキワイヤーがブレーキブラケットの調整ねじに入っていることを確認してください。
>
> 
>

ブレーキワイヤーの交換 6/7

11 ブレーキブラケットのねじを閉め切ります。

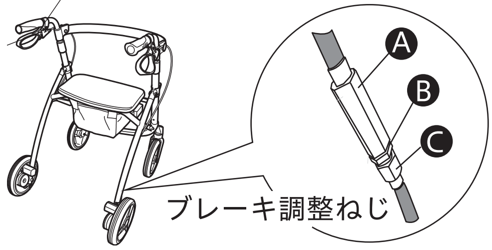
> 図の部分でのブレーキ調整は行わないでください。（ネジは図のように、通常は閉め切ってください。）



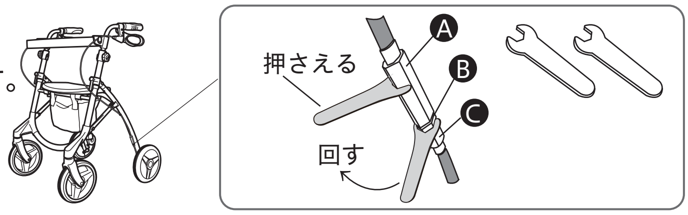
12 調整ナットと調整ねじを回し、ブレーキのきき具合を調整します。

こちらでの
調整は行わないでください。

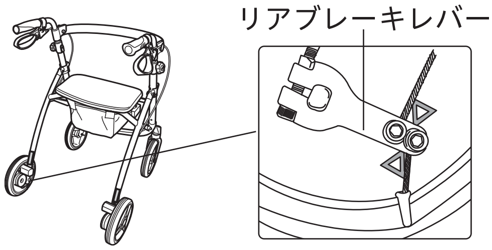
調整は図のブレーキ調整ねじで行います。

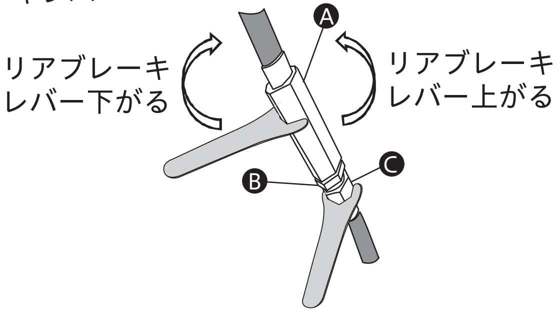


① Aを押さえながら、Bを矢印の方向に回し（時計回り）Bをゆるめます。
（付属のスパナをご利用ください。）

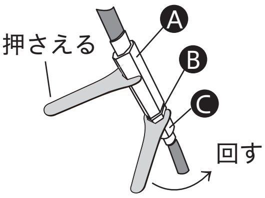


② 図のようにリアブレーキレバーが三角印の中心にくるように、Cを押さえながらAを回してリアブレーキレバーの位置を調整してください。





③ 調整がすんだら、Aを押さえながらBを矢印の方向（反時計回り）に回して固定してください。



> 必ず付属のスパナを使って固定してください。

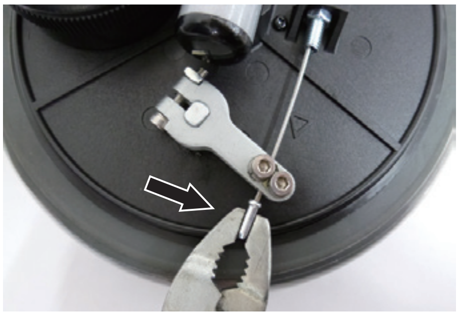
※ブレーキ調整ねじがついていない仕様の場合は、調整方法が異なりますのでお問い合わせください。

ブレーキワイヤーの交換　7/7

13 **ブレーキの動作を確認します。**

□後輪を手で回してみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?
□ブレーキレバーを離すと、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
□ブレーキレバーを下に押すと、パーキングブレーキがかかりますか?
□ブレーキレバーを握ると、パーキングブレーキが解除されますか?

14 **ブレーキワイヤーの終端に新しいエンドキャップをかぶせ、ペンチなどで数か所を押しつぶし固定します。**



15 **ワイヤーガイドでブレーキワイヤーをはさみ、六角レンチ(外側:対辺 4mm、内側:対辺 5mm)でねじを締めます。**

チェックリスト

□ 本体を押して歩いてみて、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
□ 本体を押して歩いてみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?
□ ブレーキワイヤーがブレーキの調整ねじで固定されていますか?
□ 本体を押して歩いてみて、異音(カタカタ音)がしませんか?

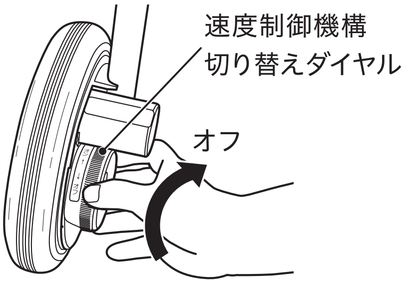
これで作業完了です

ブレーキワイヤーの調整方法　1/2

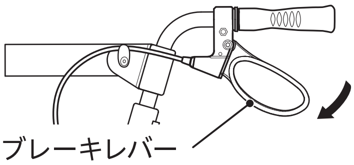
調整手順

以下の手順に従い、ブレーキワイヤーを調整してください。

1　速度制御機構をオフにします。
速度制御機構切り替えダイヤルを回し、
矢印の位置に「オフ」の表示を合わせます。

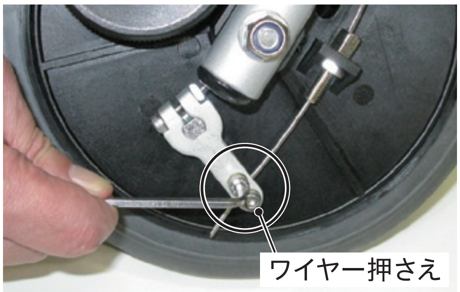


2　ブレーキレバーを下に押し、パーキング
ブレーキをかけます。



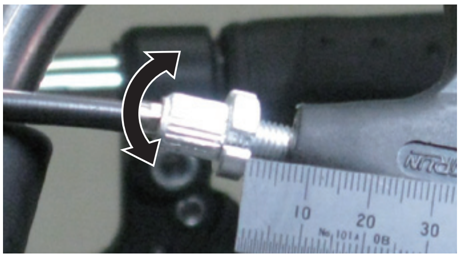
3　後輪内側のワイヤー押さえのボルト（2 箇所）
を六角レンチ（対辺 3mm）でゆるめます。

ボルトは完全に取り外さないでください。



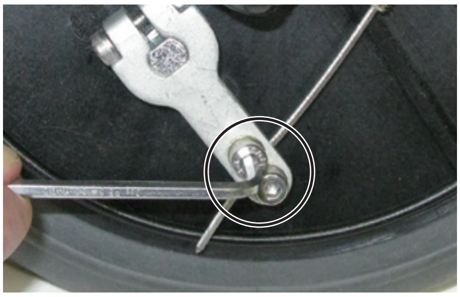
4　ブレーキのねじを回し、ブレーキブラケットから
約 4mm 離します。

約 4mm 離しておくことで、あとでブレーキの
調整がしやすくなります。

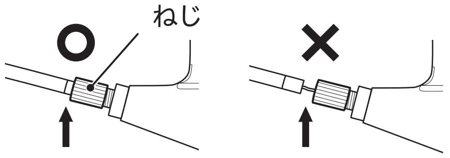


ブレーキワイヤーの調整方法　2/2

5　ワイヤー押さえのボルト（2 箇所）を六角レンチ（対辺 3mm）で締めます。



ブレーキワイヤーがブレーキブラケットのねじに入っていることを確認してください。



6　ブレーキのきき具合を調整します。（24 ページを参照）

7　ブレーキの動作を確認します。

□後輪を手で回してみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?
□ブレーキレバーを離すと、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
□ブレーキレバーを下に押すと、パーキングブレーキがかかりますか?
□ブレーキレバーを握ると、パーキングブレーキが解除されますか?

チェックリスト

□ 本体を押して歩いてみて、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
□ 本体を押して歩いてみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?
□ ブレーキワイヤーがブレーキの調整ねじで固定されていますか?
□ 本体を押して歩いてみて、異音（カタカタ音）がしませんか？

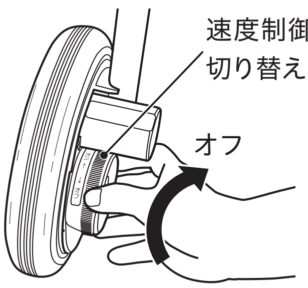
これで作業完了です

ブレーキの調整方法　1/2

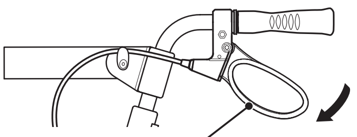
調整手順

以下の手順に従い、ブレーキのきき具合を左右それぞれ調整してください。

1 **速度制御機構をオフにします。**
速度制御機構切り替えダイヤルを回し、矢印の位置に「オフ」の表示を合わせます。



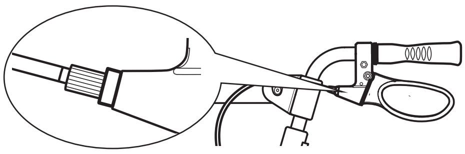
2 **ブレーキレバーを下に押し、パーキングブレーキ をかけます。**



> 後輪を確実にロックしてください。

3 **ブレーキブラケットのねじを閉め切ります。**

> 図の部分でのブレーキ調整は行わないでください。(ネジは図のように、通常は閉め切ってください。)

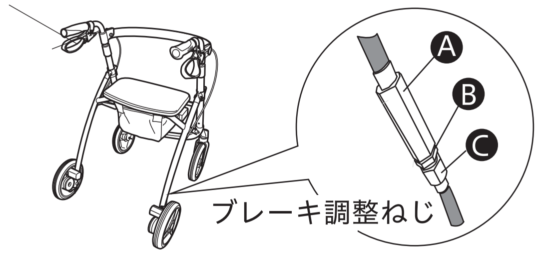


TAKANO HeartWorks

ブレーキの調整方法 2/2

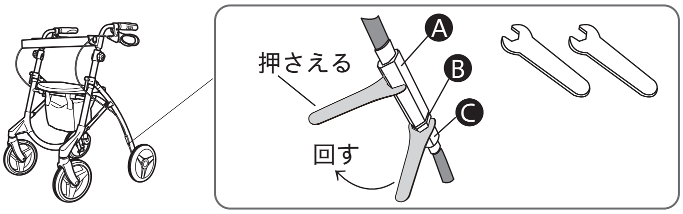
4 調整ナットと調整ねじを回し、ブレーキのきき具合を調整します。

こちらでの調整は行わないでください。

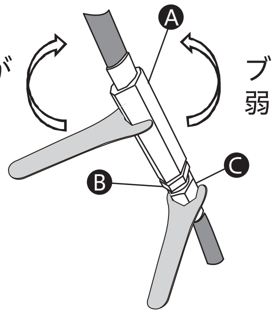


調整は図のブレーキ調整ねじで行います。

① Ⓐを押さえながら、Ⓑを矢印の方向に回し（時計回り）Ⓑをゆるめます。
（付属のスパナをご利用ください。）



② 調整ねじを回してブレーキの
強さを調整してください。

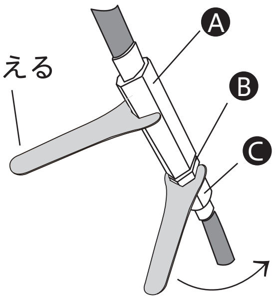


③ パーキングブレーキを解除し、ブレーキを
握ってブレーキのきき具合を確認します。

ブレーキのききが適切な強さになるまで、手順①から手順②の作業を行ってください。

5 調整がすんだら、Ⓐを押さえながらⒷを矢印の方向（反時計回り）に回して固定してください。

必ず付属のスパナを
使って固定してください。



チェックリスト

- ☐ 本体を押して歩いてみて、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか？
- ☐ 本体を押して歩いてみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか？

これで作業完了です

※ブレーキ調整ねじがついていない仕様の場合は、調整方法が異なりますのでお問い合わせください。

速度制御装置ユニットの交換 1/4

交換対象品

品名	数量	備考
□ ユニット	1	
□ 長ねじ（タッピン）	2	
□ ねじ（M3）	1	
□ ブッシュ	1	

準備するもの

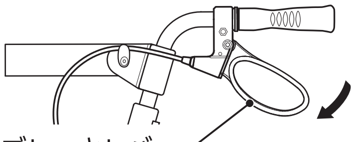
□ プラスドライバー

交換手順

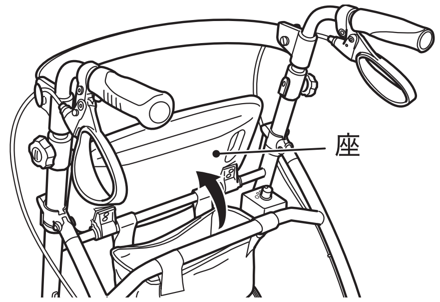
以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

1 **ブレーキレバーを下に押し、パーキングブレーキをかけます。**



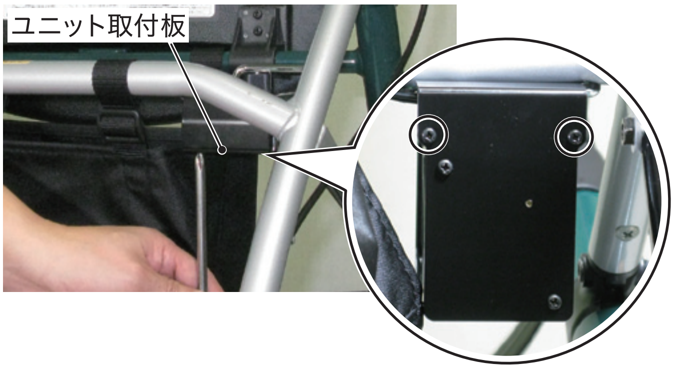
2 **座をはね上げます。**



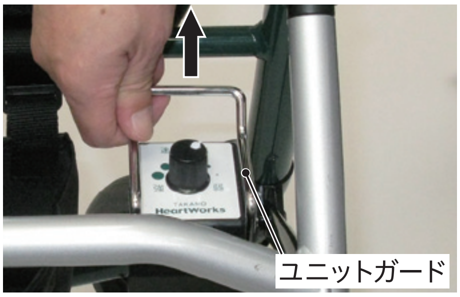
速度制御装置ユニットの交換　2/4

■ 速度制御装置ユニットの取り外し

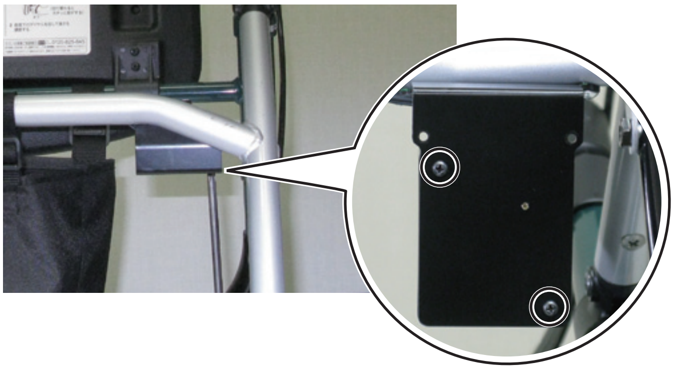
1 ユニットを保護しているユニットガードを取り外します。
ユニット取付板裏側のねじ（2 箇所）をプラスドライバーで取り外します。



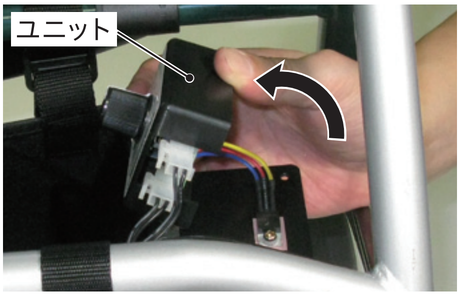
2 ユニットガードを取り外します。



3 ユニットをユニット取付板から離します。
取付板裏側の長ねじ（2 箇所）をプラスドライバーで取り外します。

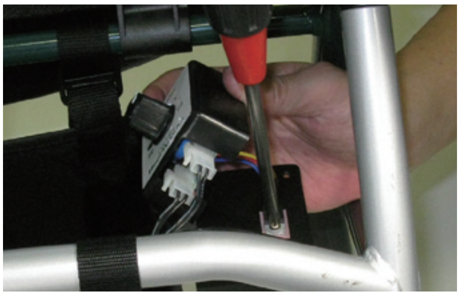


4 ユニットをユニット取付板から離し、横向きにします。

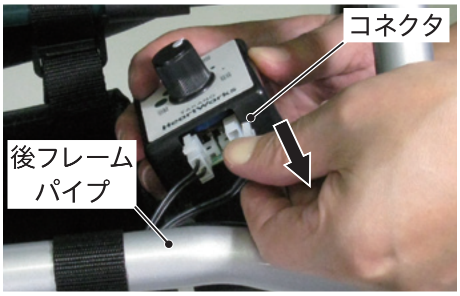


速度制御装置ユニットの交換　3/4

5　ユニット基盤から出ている端子を取り外します。ユニット取付板のねじをプラスドライバーで取り外します。

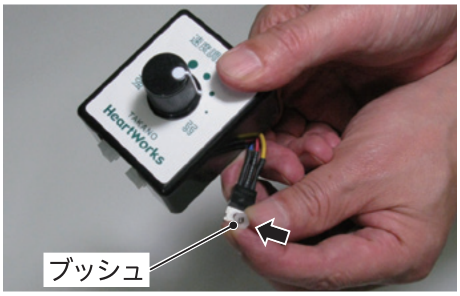


6　後フレームパイプから出ているコネクタ（2 箇所）のツメを指で押さえながら取り外します。

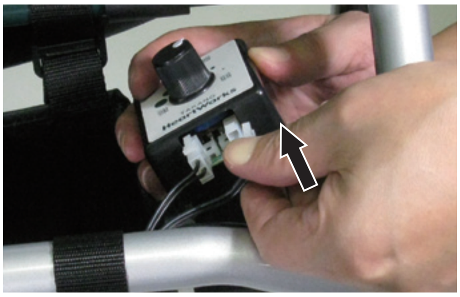


■　速度制御装置ユニットの取り付け

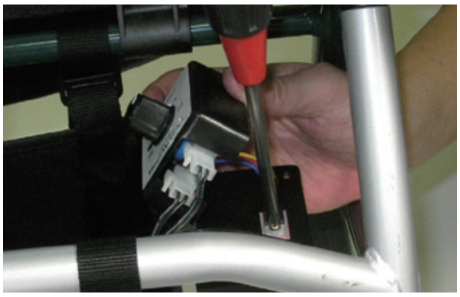
1　新しいユニットの基盤から出ている端子にブッシュをはめ込みます。



2　新しいユニットに、後フレームパイプから出ているコネクタ（2 箇所）のツメを指で押さえながら差し込みます。



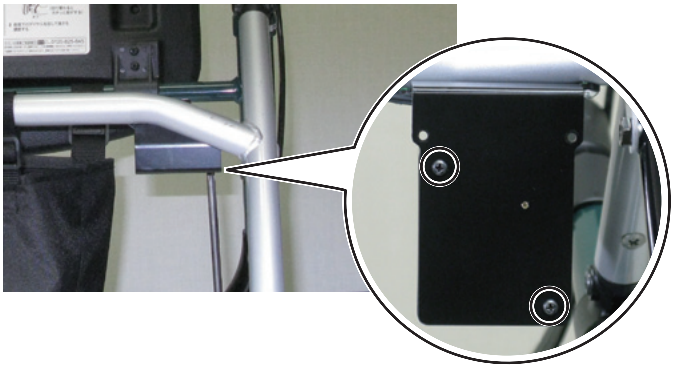
3　ユニット基盤から出ている端子を取り付けます。ユニット取付板のねじをプラスドライバーで締めます。



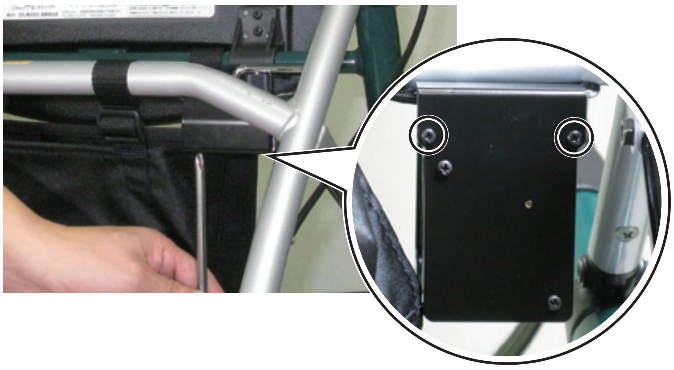
速度制御装置ユニットの交換 4/4

4 ユニットをユニット取付板にかぶせます。

5 ユニットをユニット取付板に固定します。
ユニット取付板裏側の長ねじ（2 箇所）をプラスドライバーで締めます。



6 ユニットガードをユニット取付板に固定します。
ユニット取付板裏側のねじ（2 箇所）をプラスドライバーで締めます。



チェックリスト

- □ 速度制御機構をオンにすると、後輪に負荷がかかりますか？左右の後輪を確認してください。
- □ 速度制御機構をオンにしているときに、後輪にかかる負荷の強さを 6 段階に調節できますか？

これで作業完了です

後輪タイヤの交換　1/2

交換対象品

品名	数量	備考
□ 後輪タイヤ	1	
□ キャップ（赤色）	1	
□ Uナット	1	

準備するもの

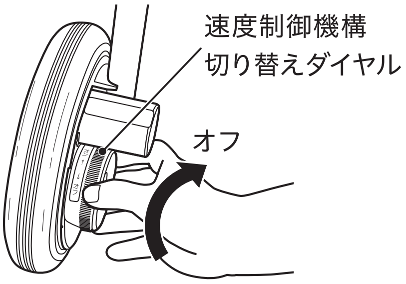
□ スパナ（対辺 13mm）など、先端が平たく固いもの
□ ソケットレンチ（対辺 13 mm：トルク調整タイプのプレセット型トルクレンチ）
例）東日 QL15N−MH、東日 QL10N−MH

交換手順

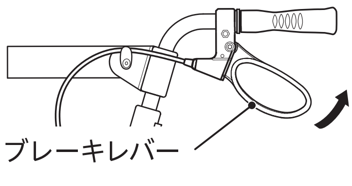
以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

1 **速度制御機構をオフにします。**
速度制御機構切り替えダイヤルを回し、
矢印の位置に「オフ」の表示を合わせます。

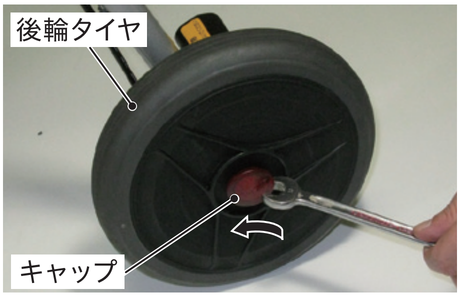


2 **ブレーキレバーを握り、パーキングブレーキを解除します。**



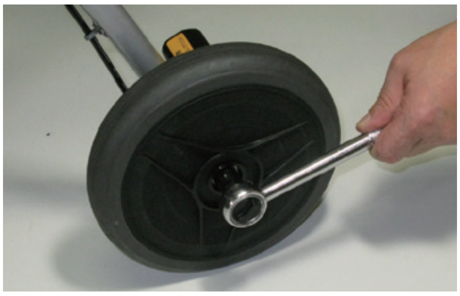
■ 後輪タイヤの取り外し

1 **後輪タイヤ外側のキャップ（赤色）をスパナなどで取り外します。**

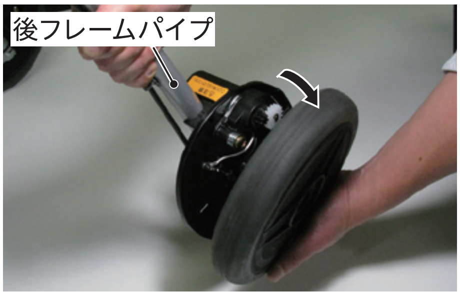


後輪タイヤの交換 2/2

2 **後輪タイヤ外側のナットをソケットレンチで取り外します。**



3 **後フレームパイプを持ち上げ、後輪タイヤを取り外します。**

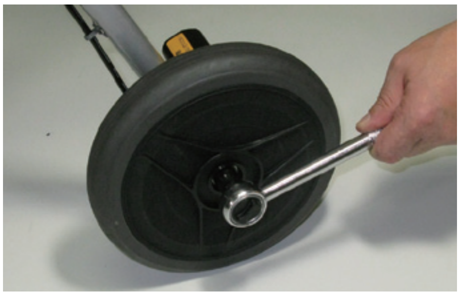


■ 後輪タイヤの取り付け

1 **後フレームパイプを持ち上げ、新しい後輪タイヤを取り付けます。**

2 **後輪タイヤ外側にソケットレンチでUナットを取り付けます。締付トルク：9N・m**

Uナットの羽部が必ずネジの溝部に入っていることを確認してください。
締付け過ぎにはご注意ください。



3 **後輪タイヤ外側にキャップ（赤色）を取り付けます。**

チェックリスト

- □ 後輪タイヤ外側のUナットは、ゆるみなく固定されていますか？
- □ 本体を押して歩いてみて、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
- □ 速度制御機構をオンにした状態で、本体を押して歩いてみて、後輪に負荷がかかりますか?
- □ 本体を押して歩いてみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?

これで作業完了です

後輪タイヤ一式の交換　1/7

交換対象品

品名	数量	備考
□ 後輪タイヤ一式	1	
□ ねじ	2	
□ U ナット	2	
□ エンドキャップ	1	

準備するもの

□ 六角レンチ（対辺 3 mm）

□ ソケットレンチ（対辺 13 mm：トルク調整タイプのプレセット型トルクレンチ）

例）東日 QL15N−MH、東日 QL10N−MH

□ ペンチなど

□ スパナ（対辺 13 mm）など、先端が平たく固いもの

□ スパナ（対辺 5.5 mm）

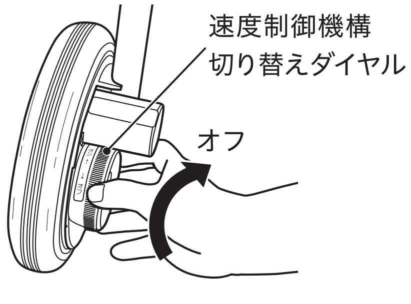
□ プラスドライバー

交換手順

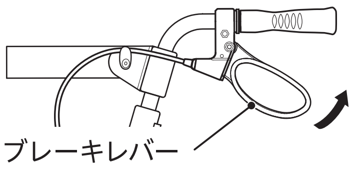
以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

1　速度制御機構をオフにします。
速度制御機構切り替えダイヤルを回し、
矢印の位置に「オフ」の表示を合わせます。



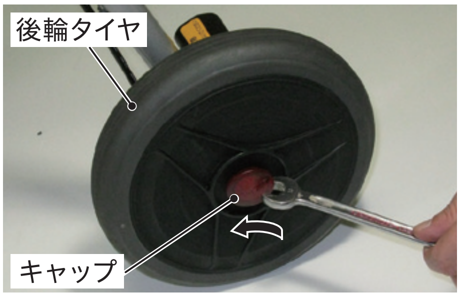
2　ブレーキレバーを握り、パーキングブレーキ を
解除します。



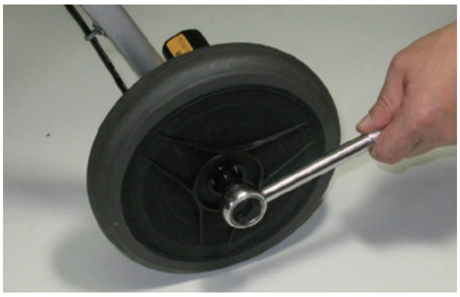
後輪タイヤ一式の交換 2/7

■ 後輪タイヤの取り外し

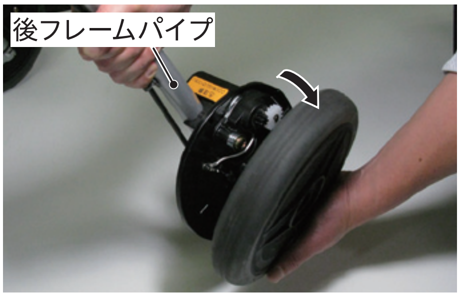
1 後輪タイヤ外側のキャップ（赤色）をスパナなどで取り外します。



2 後輪タイヤ外側のナットをソケットレンチで取り外します。

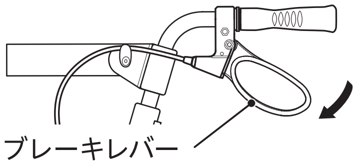


3 後フレームパイプを持ち上げ、後輪タイヤを取り外します。

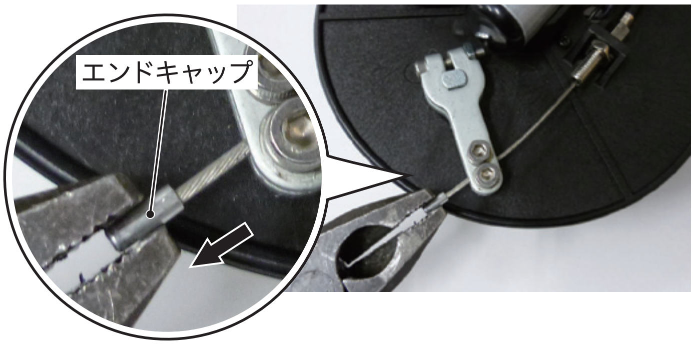


■ ブレーキワイヤーを取り外す

1 ブレーキレバーを下に押し、パーキングブレーキをかけます。



2 ブレーキワイヤーのエンドキャップをペンチで引き抜きます。



3 **後輪内側のワイヤー押さえのボルト（2 箇所）を六角レンチ（対辺 3mm）でゆるめます。**

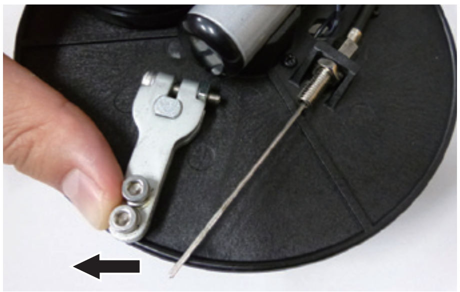
このときワイヤー押さえを、右の図のように指で支えてください。

⚠注意

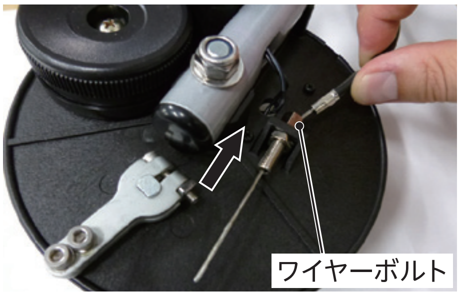
ホイールベース反対側にはバネが組み込まれています。
ワイヤー押さえを支えずにボルトをゆるめると、指をはさむ恐れがあります。

4 **ワイヤー押さえを支えている指を、右の図で示す方向へゆっくり動かします。**

ブレーキワイヤーがワイヤー押さえから外れます。

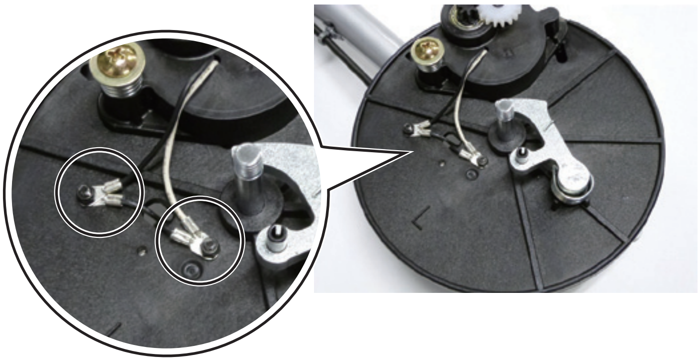


5 **後輪内側のワイヤーボルトからブレーキワイヤーを引き抜きます。**



■ 速度制御機構の配線の取り外し

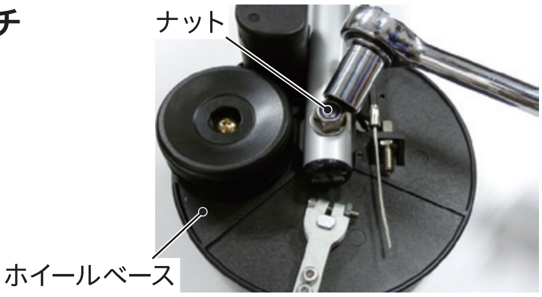
1 **速度制御機構の配線を、スパナ（対辺 5.5 mm）とプラスドライバーを使って取り外します。**



後輪タイヤー式の交換 4/7

■ ホイールベースの取り外し

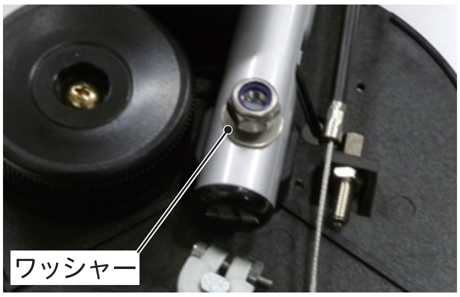
1 ホイールベースのナットをソケットレンチ（対辺 13 mm）でゆるめ、本体フレームから取り外します。



■ ホイールベースの取り付け

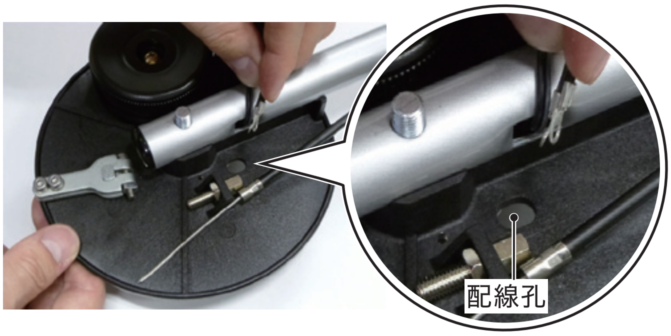
1 新しいホイールベースを本体フレームに取り付けます。

2 ホイールベース取り付け軸に、ワッシャー、ナットの順に取り付け、ソケットレンチ（対辺 13 mm）で締め付けます。



■ 速度制御機構の配線の取り付け

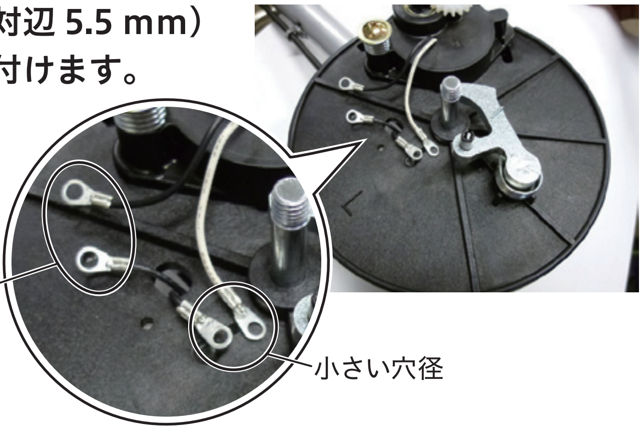
1 本体フレームから出ている配線をホイールベース配線孔に通します。



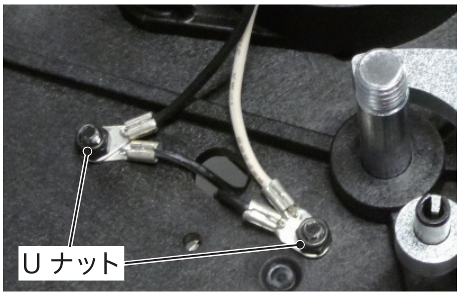
TAKANO HeartWorks

2 **速度制御機構の配線を、スパナ（対辺 5.5 mm）とプラスドライバーを使って取り付けます。**

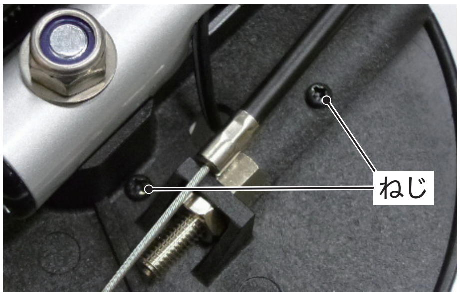
端子先端形状は2種類あります。
同じ穴径の端子ごとねじとUナットで取り付けます。



配線の取り付け完成図



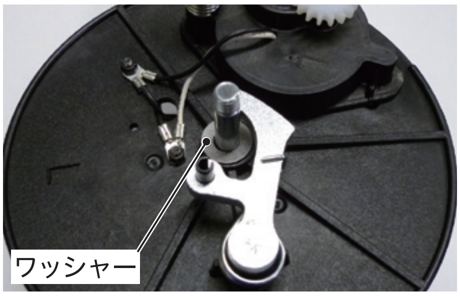
本体外側



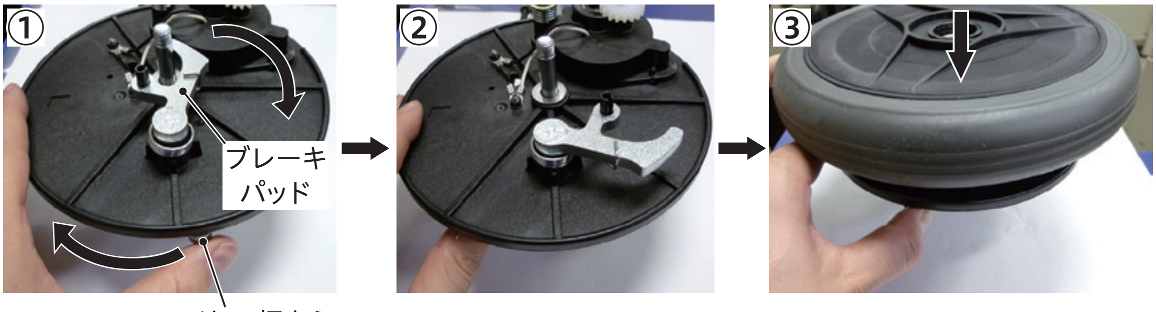
本体フレーム側

■ 後輪タイヤの取り付け

1 **本体を横向きにして、車輪軸にワッシャーを入れます。**



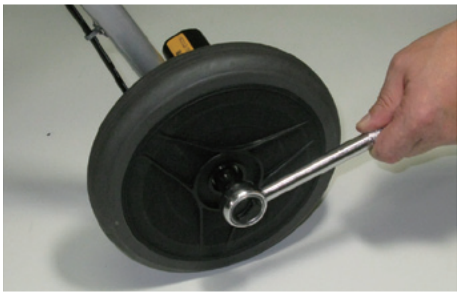
2 **下の図①の矢印で示した方向にワイヤー押さえを押し込み、ブレーキパッドを回転させた状態（図②）で、新しい後輪タイヤを取り付けます（図③）。**



ワイヤー押さえ

3 **後輪タイヤ外側にソケットレンチでUナットを取り付けます。締付トルク：9N・m**

Uナットの羽部が必ずネジの溝部に入っていることを確認してください。
締付け過ぎにはご注意ください。

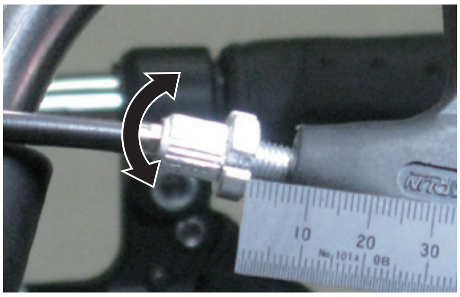


4 **後輪タイヤ外側にキャップ（赤色）を取り付けます。**

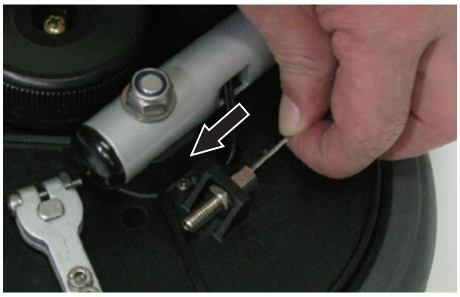
■ ブレーキワイヤーの取り付け

1 **ブレーキの調整ねじを回し、ブレーキブラケットから約 4mm 離します。**

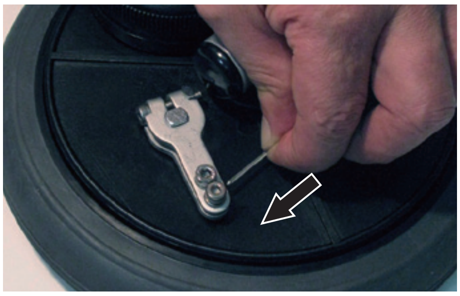
約 4mm 離しておくことで、あとでブレーキの調整がしやすくなります。



2 **後輪内側のワイヤーボルトにブレーキワイヤーを通します。**

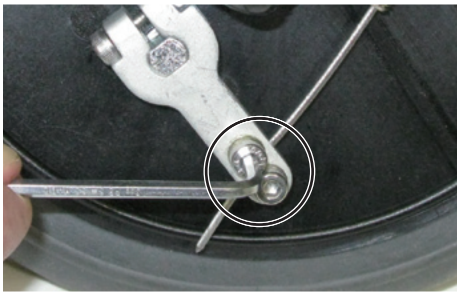


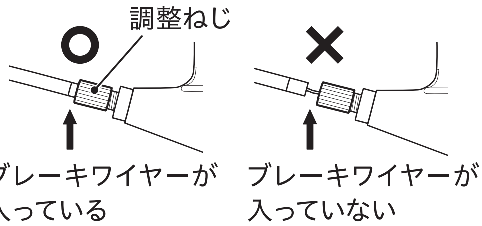
3 **後輪内側のワイヤー押さえにブレーキワイヤーを通します。**



後輪タイヤ一式の交換　7/7

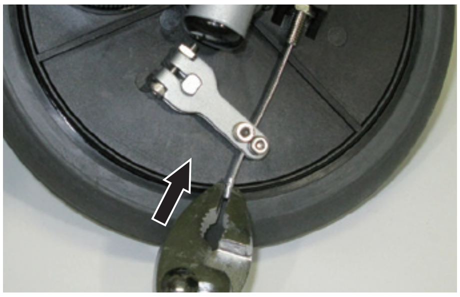
4　**ワイヤー押さえのボルト（2 箇所）を六角レンチ（対辺 3mm）で締めます。**



> **!**　ブレーキワイヤーがブレーキブラケットの調整ねじに入っていることを確認してください。
>
> 
>

5　**ブレーキのきき具合を調整します。（24ページ参照）**

6　**ブレーキワイヤーの終端に新しいエンドキャップをかぶせ、ペンチなどで数か所を押しつぶし固定します。**



チェックリスト

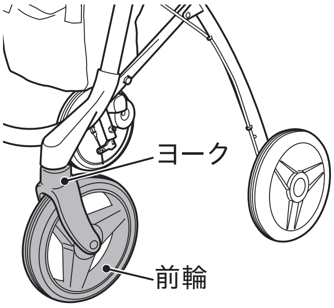
- □ 後輪タイヤ外側のUナットは、ゆるみなく固定されていますか？
- □ 本体を押して歩いてみて、後輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
- □ 本体を押して歩いてみて、異音（カタカタ音）がしませんか?
- □ 本体を押して歩いてみて、ブレーキレバーを握ると、ブレーキがかかりますか?
- □ ブレーキワイヤーがブレーキの調整ねじで固定されていますか?

これで作業完了です

前輪の交換　1/3

交換対象品

品名	数量	備考
□ 前輪	1	以下の図の塗りつぶし部分を交換します。
□ボルト（M8）	1	
□ ナット	1	
□ スペーサー	2	
□ ヨーク	1	
□ ボルト（M10）	1	
□ ワッシャー	1	



準備するもの

□ ソケットレンチ（対辺 13mm）
□ ソケットレンチ（対辺 17mm）
□ 六角レンチ（対辺 5mm）

交換手順

以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

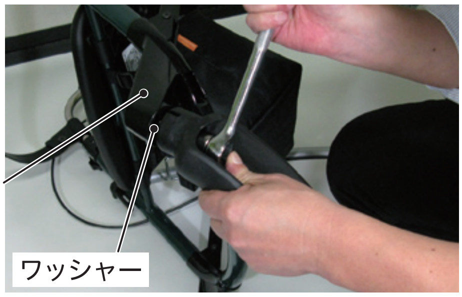
1 **交換する前輪が上側になるように、本体を横向きにします。**

■ 前輪の取り外し

1 **ヨークのボルトとナットを六角レンチとソケットレンチ（対辺 13mm）で取り外します。**
前輪タイヤとスペーサー（2 個）が外れます。

前輪の交換 2/3

2 **ヨークの六角ボルトをソケットレンチ（対辺 17mm）で取り外し、前フレームパイプの締結部からヨークとワッシャーを取り外します。**

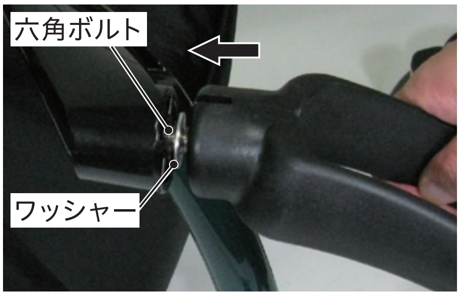


■ 前輪の取り付け

1 **新しいヨークを前フレームパイプの締結部に取り付けます。**
新しい前輪のヨークのボルトとナットを、六角レンチとソケットレンチ（対辺 13mm）で取り外します。

前輪タイヤとスペーサー（2 個）が外れます。

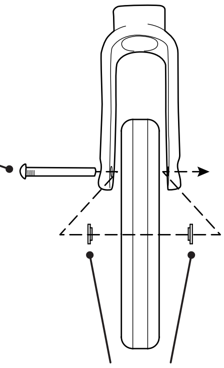
2 **ヨークの六角ボルトにワッシャーを通し、ソケットレンチ（対辺 17mm）でヨークを本体に取り付けます。**
このとき、六角ボルト取付部の油分を拭き取ってから取り付けてください。



3 **手順 1 で取り外したボルトをヨークの片側に差し込みます。**

4 **スペーサー、前輪タイヤ、スペーサーの順にボルトを通します。**

スペーサーの凸側がタイヤ側になります。



前輪の交換　3/3

5　手順１で取り外したナットでボルトを締めます。

6　ヨークのボルトとナットを六角レンチとソケットレンチ（対辺 13mm）で締めます。

7　前輪を手で回してみて、前方へも後方へもスムーズに回転するか確認します。

チェックリスト

- ☐ 本体を押して歩いてみて、前輪が前方へも後方へもスムーズに回転しますか?
- ☐ 本体を押して歩いてみて、前輪がスムーズに旋回しますか?
- ☐ ヨークが前フレームパイプの締結部に、ゆるみなくしっかり固定されていますか?
- ☐ ヨークのボルトとナットは、ゆるみなく固定されていますか？

これで作業完了です

背もたれの交換　1/2

交換対象品

品名	数量	備考
☐ 背もたれ	1	
☐ 六角穴付皿ボルト	2	
☐ 飾りナット	2	
☐ ワイヤーガイド	2	破損などがある場合に交換します。

準備するもの

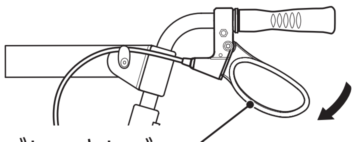
☐ 六角レンチ（対辺 4mm）
☐ 六角レンチ（対辺 5mm）

交換手順

以下の手順に従い、部品を交換してください。

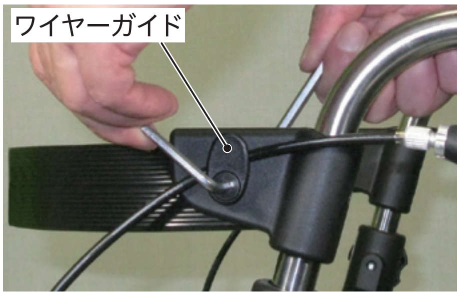
■ 交換の準備

1　ブレーキレバーを下に押し、パーキングブレーキをかけます。



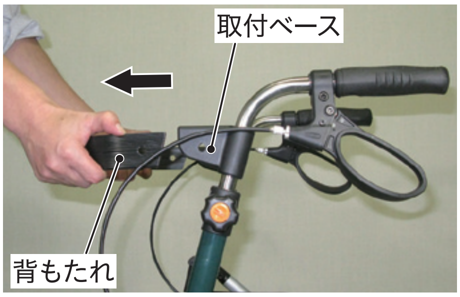
■ 背もたれの取り外し

1　ワイヤーガイドのねじと飾りナットを六角レンチ（外側：対辺 4mm、内側：対辺 5mm）で取り外します（左右 2 箇所）。



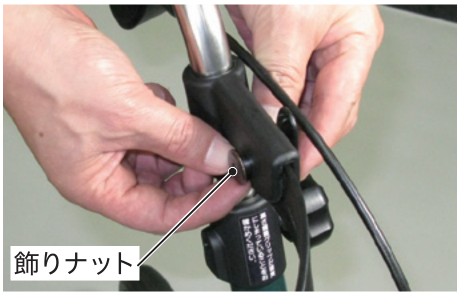
TAKANO HeartWorks

2 **取付ベースから背もたれを取り外します。**

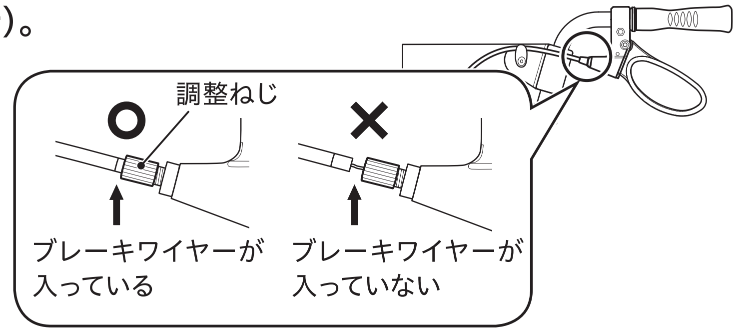


■ 背もたれの取り付け

1 **新しい背もたれを取付ベースに差し込み、内側から飾りナットをはめ込みます（左右2箇所）。**



2 **ブレーキワイヤーがブレーキブラケットの調整ねじに入っていることを確認してください（左右2箇所）。**



3 **ワイヤーガイドでブレーキワイヤーをはさみ、六角レンチ（外側：対辺4mm、内側：対辺5mm）でねじを締めます（左右2箇所）。**

チェックリスト

- □ ワイヤーガイドのねじ（左右2箇所）にゆるみはありませんか？

これで作業完了です

座の交換　1/2

交換対象品

品名	数量	備考
□ 座	1	
□ ねじ	4	

準備するもの

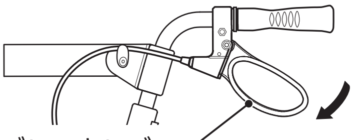
□ プラスドライバー

交換手順

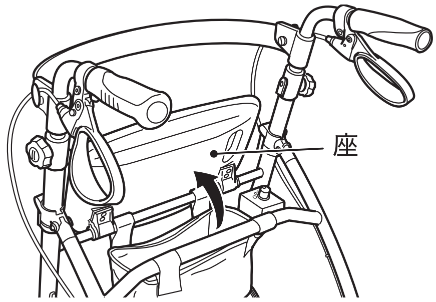
以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

1 ブレーキレバーを下に押し、パーキングブレーキをかけます。

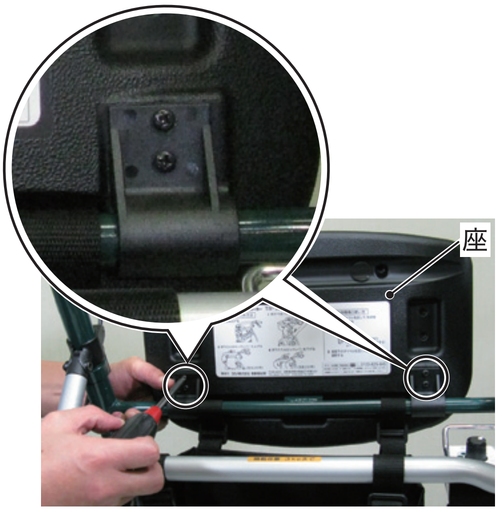


2 座をはね上げます。



■ 座の取り外し

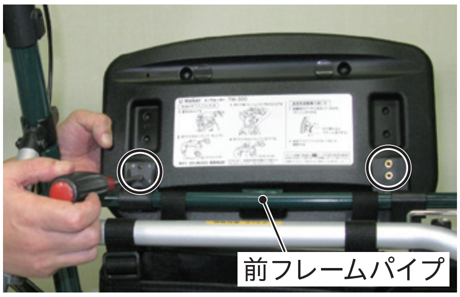
1 座裏のねじ（左右 2 箇所ずつ）をプラスドライバーで取り外します。



座の交換　2/2

■　座の取り付け

1　**新しい座の座裏のねじ（左右 2 箇所ずつ）をプラスドライバーで締め、前フレームパイプに取り付けます。**



チェックリスト

□ 座裏のねじ（左右 2 箇所ずつ）にゆるみはありませんか？

これで作業完了です

バッグの交換　1/2

交換対象品

品名	数量	備考
□ バッグ	1	
□ アジャスター	4	

準備するもの

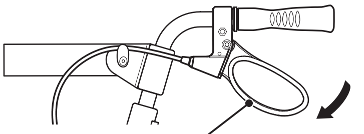
なし

交換手順

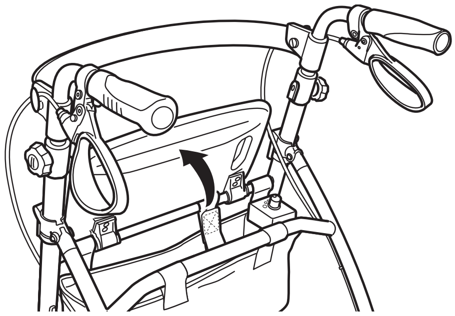
以下の手順に従い、部品を交換してください。

■ 交換の準備

1 ブレーキレバーを下に押し、**パーキングブレーキ**をかけます。

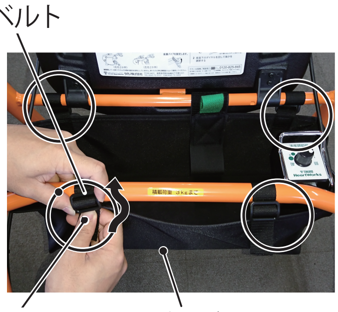


2 座をはね上げます。



■ バッグの取り外し

1 アジャスター部分の取付ベルト（4 箇所）をゆるめながらほどき、バッグをフレームから取り外します。



バッグの交換　2/2

■ バッグの取り付け

1 新しいバッグの取付ベルトを、フレームの下側から内側を通し手前に向かって一回りさせ、アジャスターで締めます（4 箇所）。

チェックリスト

□ 取付ベルトが 4 箇所ともしっかり締まっていますか？

これで作業完了です

各種シールの貼り付け　1/2

交換対象品

品名	数量	備考
☐ 高さ調整注意シール	2	
☐ 脚開閉レバーシール	2	
☐ 速度制御機構切替 （オン - オフ表示）シール	2	
☐ 速度調整シール	1	
☐ 指はさみ注意シール	2	
☐ 耐荷重（80kg）表示シール	1	
☐ 積載荷重（3kg）表示シール	1	
☐ 乗車禁止シール	2	
☐ 座裏シール	1	取り扱い方法および製造元が記載されています。

準備するもの

☐ ぬれた布（固く絞ったもの）

☐ 乾いた布

交換手順

以下の手順に従い、シールを貼り付けてください。

1 **古いシールをはがします。**

2 **シールを貼り付ける部位のホコリ･油分をぬれた布で落とし、乾いた布で拭きます。**

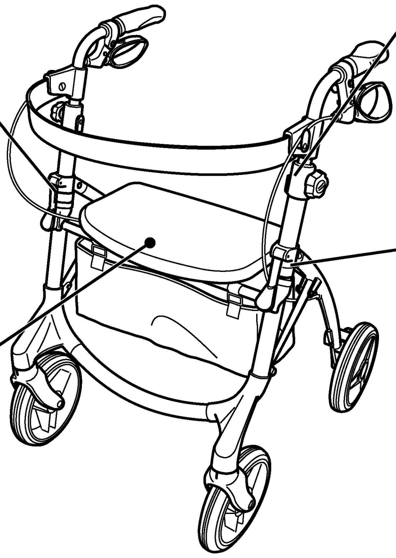
3 **新しいシールを貼り付けます。**

各種シールの貼り付け　2/2

貼り付け部位

高さ調整注意シール（左右 2 箇所）

脚開閉レバーシール（左右 2 箇所）

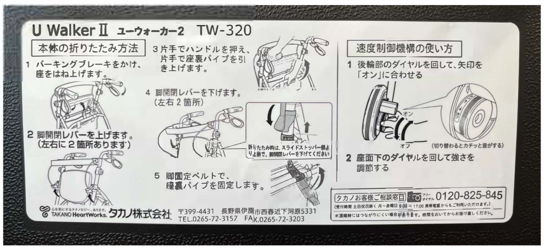


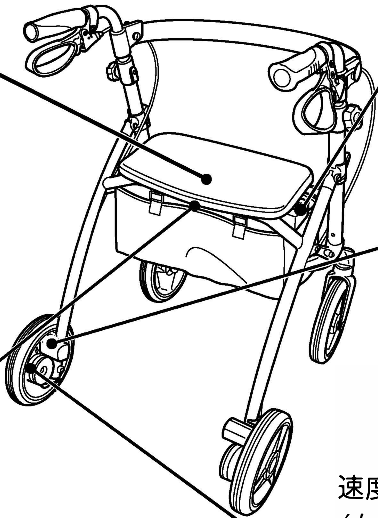
指はさみ注意シール（左右 2 箇所）

耐荷重（80kg）表示シール

速度調整シール

座裏シール





乗車禁止シール（左右 2 箇所）

積載荷重（3kg）表示シール

速度制御機構切替（オン - オフ表示）シール
（左右 2 箇所）

チェックリスト

□ シールに浮きやしわがなく、密着して貼り付けられていますか？

これで作業完了です

TAKANO HeartWorks

締結部品・キャップ類の交換

交換対象品

品名	数量	備考
□ 高さ調節ノブボルト	1	

その他の部品は、必要に応じて対応させていただきます。

ユーウォーカー2　TW-320
ハンドルフレーム交換

準備するもの

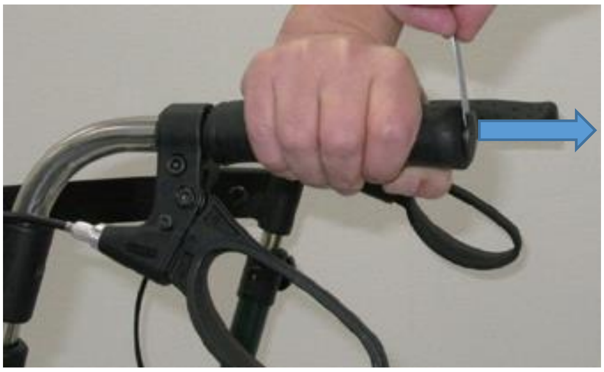
□カッター
□六角レンチ(対辺4mm、5mm)
□スパナ(口幅19mm)
□ハンマ
□プラスドライバー

交換部品

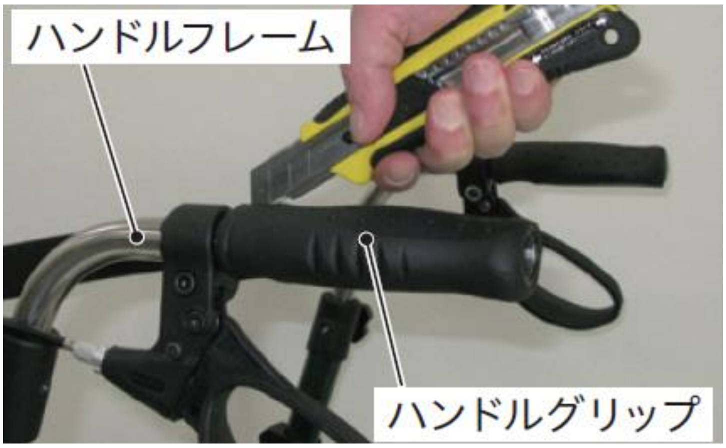
□ハンドルフレーム

交換手順

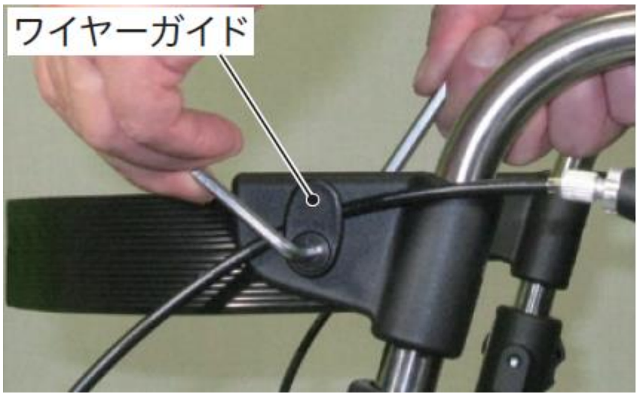
1 パイプエンドキャップをスチール定規などで取り外します。



2 ハンドルグリップをカッターナイフで切り、取り外します。
※カッターの取り扱いに十分注意してください

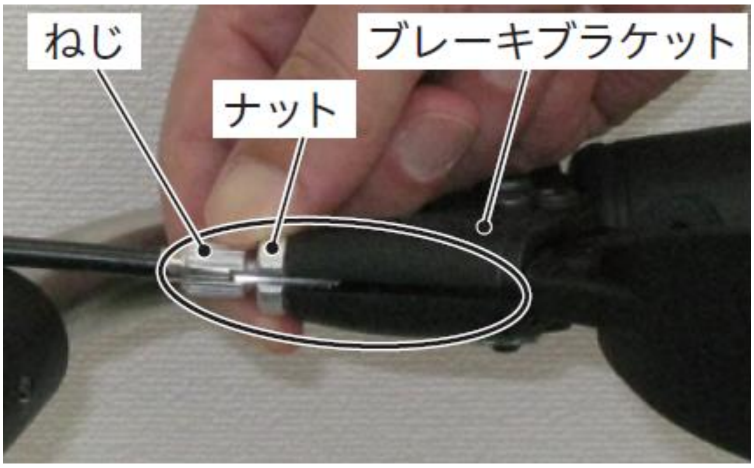


3 ブレーキワイヤーがワイヤーガイドから外れるように、ワイヤーガイドのねじを
六角レンチ(外側:対辺4mm、内側:対辺5mm)でゆるめます。



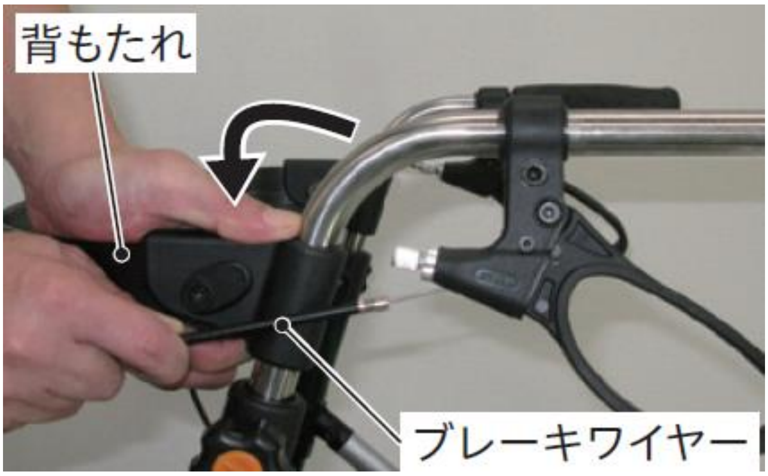
※ねじは完全に取り外さないでください。

4 ブレーキブラケットからブレーキワイヤーを取り外すことができるよう
ブレーキブラケットの下側のスリットとねじのスリットを一直線上に揃えてください。

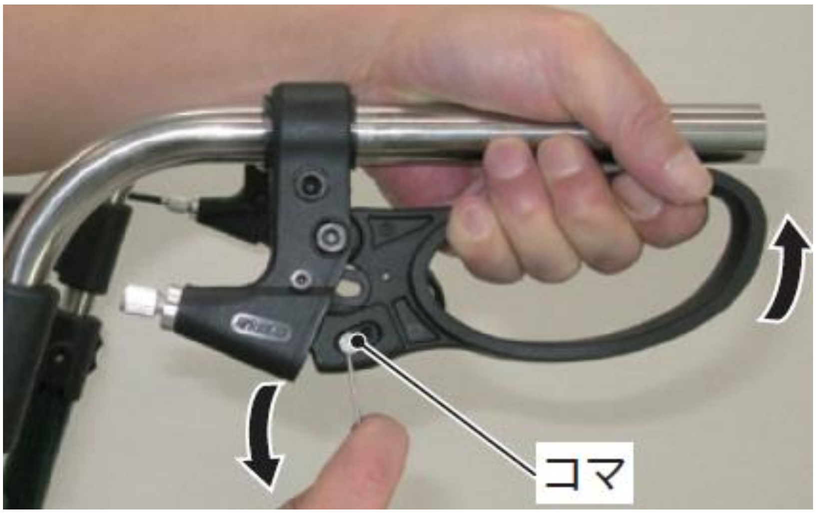


※ねじは、できるだけブレーキブラケット側へ締めてください。

5 ブレーキワイヤーを背もたれ側に引っ張りながら、ブレーキブラケットから取り外します。



6 ブレーキレバーを握りながら、ブレーキワイヤーをスリットに沿わせ
ワイヤーエンドのコマ（左のブレーキレバー：外側、右のブレーキレバー：内側）を取り外します。

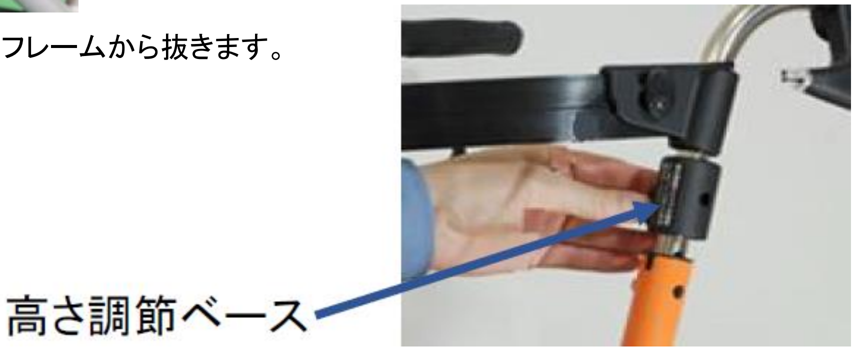


7 ブレーキブラケットの、右の図に丸印で示したボルトを六角レンチ（対辺5mm）でゆるめます。

8 ハンドルフレームからブレーキレバー一式を取り外します。

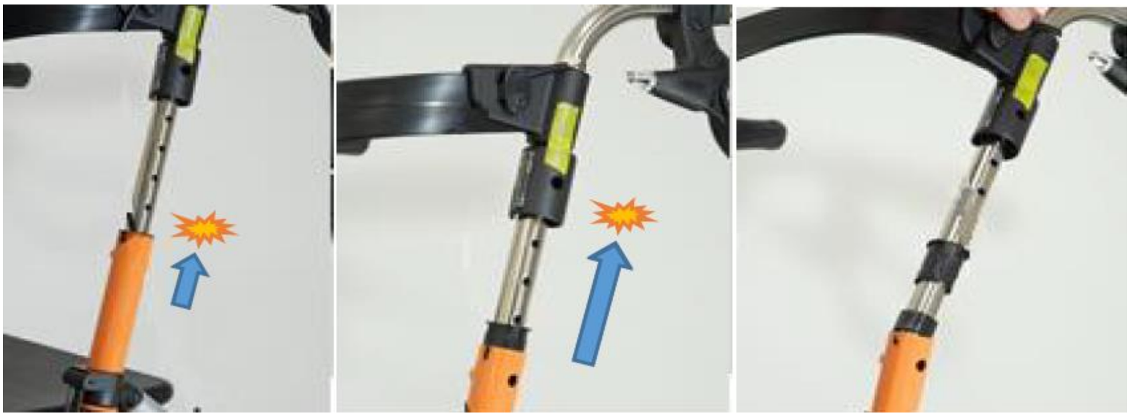
9 高さ調整ボルトを抜きます。

10 高さ調整ベースをフレームから抜きます。

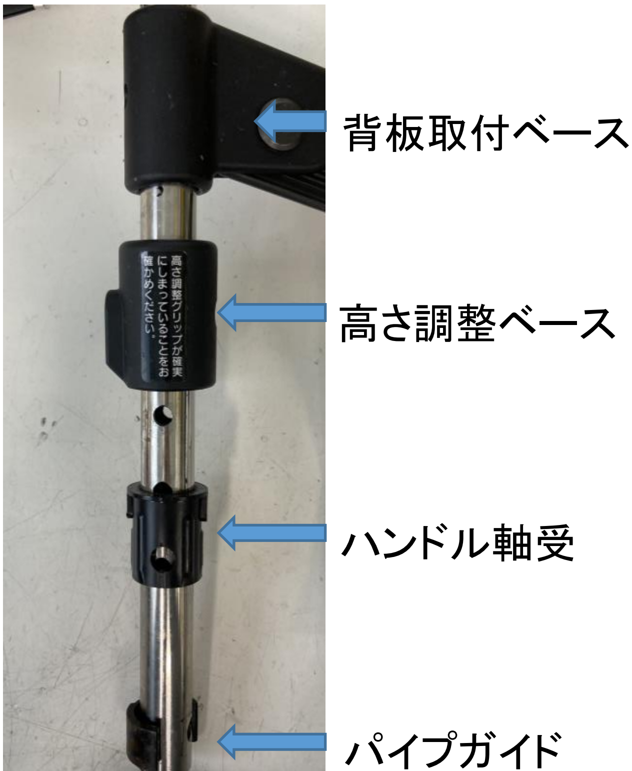


11 背板取付ベースのネジをプラスドライバーで取り外します。

12 ハンドルフレームを持ち、上へ引き抜く動作を数回繰り返し、ハンドル軸受を抜きます。
※高さ調整ベースをマスキングテープで留めておくと作業が楽になります。



13 背板取付ベース、高さ調整ベース、ハンドル軸受、パイプガイドを抜き
新しいハンドルパイプにそれぞれ差し込みます。



※入れる順番に間違えがないよう注意してください

14 ハンドルフレームを本体フレームに本体フレームに差込みます。

15 ハンドル軸受は、U字型の溝本体フレームの溝が合うように挿入します。

16 ハンドルフレームをスパナ（口幅19mm）でおさえ、ゴムハンマー等で
たたいてハンドル軸受を本体フレームに挿入してください。

17 高さ調節ベースをかぶせ、高さ調整ボルトをしめこんでください。

TAKANO
HeartWorks

18 背板取付ベースのネジをプラスドライバーで取り付けます。

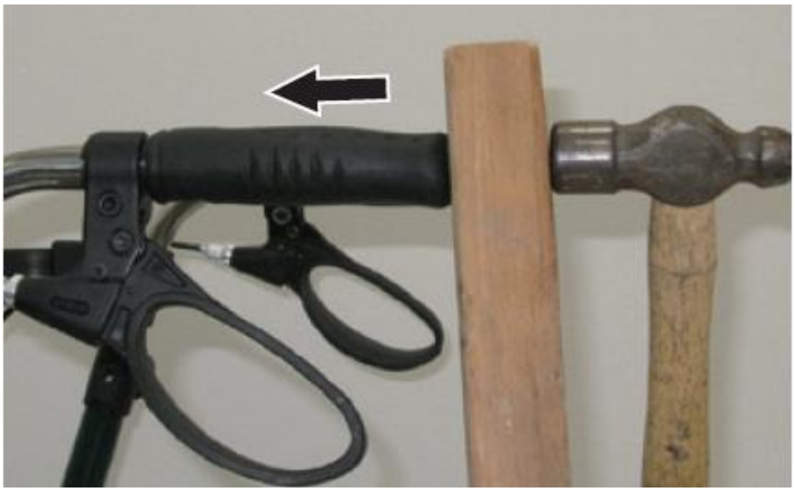
19 ハンドルフレームにブレーキレバー一式を取り付け
ブレーキレバーを握りながら、ワイヤーエンドのコマを取り付けます。

20 ブレーキレバーを下げ、ブレーキワイヤーをスリットに沿って差し込みます。

※ブレーキワイヤーの調整はブレーキワイヤー交換手順に従ってください

21 ワイヤーガイドでブレーキワイヤーをはさみ
六角レンチ（外側：対辺4mm、内側：対辺5mm）でねじを締めます。

22 ハンドルグリップの端部にあて木などをし、ハンマーで叩いて端部まで押し込みます。



23 新しいパイプエンドキャップを取り付けます。

ユーウォーカー　TW-320
後輪タイヤ取付ナットの交換

準備するもの

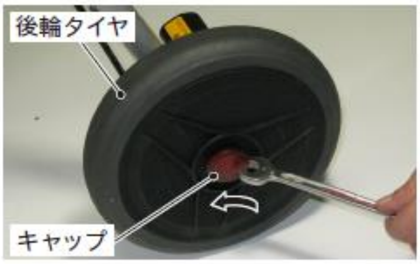
□ソケットレンチ（対辺13mm）
□スパナなど、先端が平たく固いもの

交換部品

□Uナット

<u>交換手順</u>

1. 後輪タイヤ外側のキャップ（赤色）を
   スパナなどで取り外します。



2. 後輪タイヤ外側のナットをソケットレンチで
   取り外します。

3. Uナットをソケットレンチで取付けます。
   参考締付トルク　：　9[N・m]

Uナット（変更後）

ナット（変更前）

4. 後輪タイヤ外側にキャップ（赤色）を取付けます。

ユーウォーカー２　TW-320
後輪ギア交換手順

準備するもの

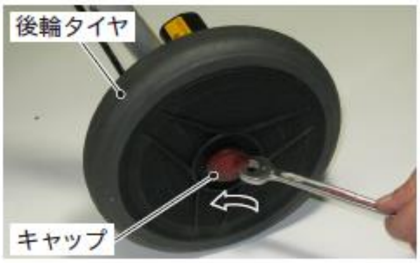
□ソケットレンチ（対辺13mm）
□スパナなど、先端が平たく固いもの
□マイナスドライバー
□Eリングプライヤー等
□ラジオペンチ

交換部品

□後輪ギア（黒色）
□Eリング（呼び3）

交換手順

1. 後輪タイヤ外側のキャップ（赤色）をスパナなどで取り外します。



2. 後輪タイヤ外側のナットをソケットレンチで
取り外します。

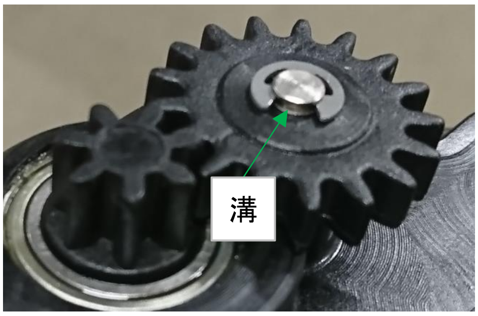
3. タイヤを外します。

4. マイナスドライバーを使いEリング（呼び3）を外す。
Eリングが勢い良く外れることがありますのでご注意ください。

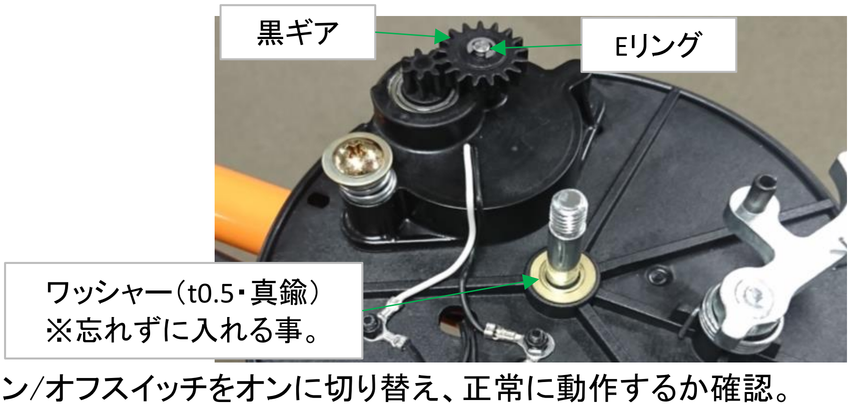
TAKANO HeartWorks

5. 交換するギアを外します。

6. 新しいギアを入れ、ラジオペンチやEリングプライヤー等で、Eリング（呼び3）を取り付けます。
Eリング（呼び3）が軸の溝に確実に入っていることを確認してください。



7. 下記の部品全てがある事を確認し、1．2．3の逆手順でタイヤを取り付ける。



8. オン/オフスイッチをオンに切り替え、正常に動作するか確認。

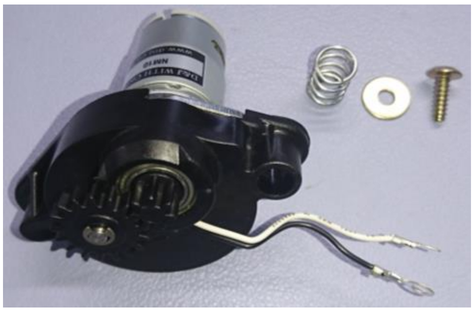
ユーウォーカー２　TW-320
ブレーキドラムL／Rの交換

準備するもの

□ソケットレンチ（対辺13mm）
□スパナなど、先端が平たく固いもの(対辺5.5mm)

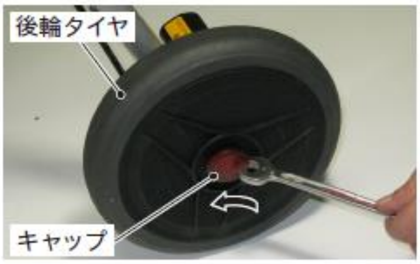
交換部品

□ブレーキドラムL/R



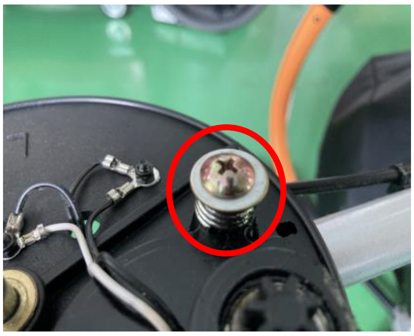
交換手順

1. 後輪タイヤ外側のキャップ（赤色）を
スパナなどで取り外します。

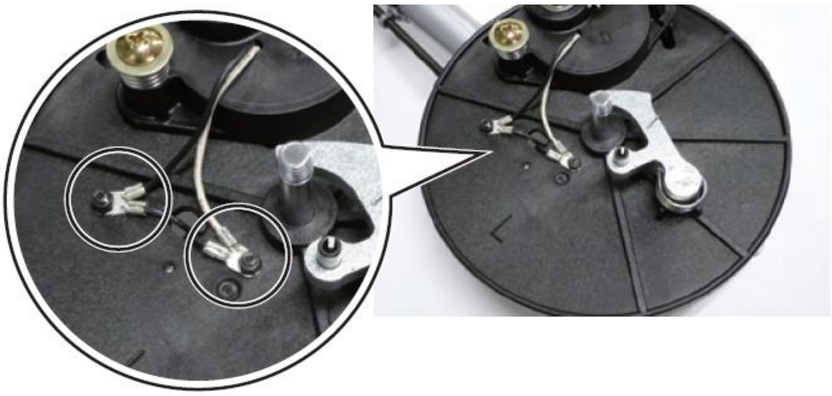


2. 後輪タイヤ外側のナットをソケットレンチで外し
タイヤを取り外します。

3. ブレーキドラムのボルトをプラスドライバーで外します。

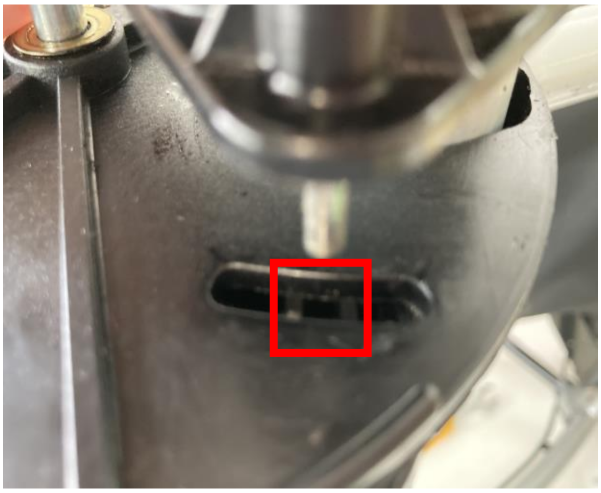


4. 速度制御機構の配線をスパナ（対辺5.5mm）とプラスドライバーを使って取り外します。



※ブレーキドラムを取り外した状態

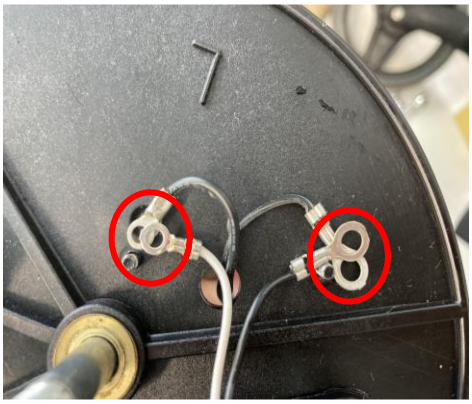
5. 速度制御装置がオンの場合はオフにし、ピンを真ん中の溝に入れ
新しいブレーキドラムを取り付けます。

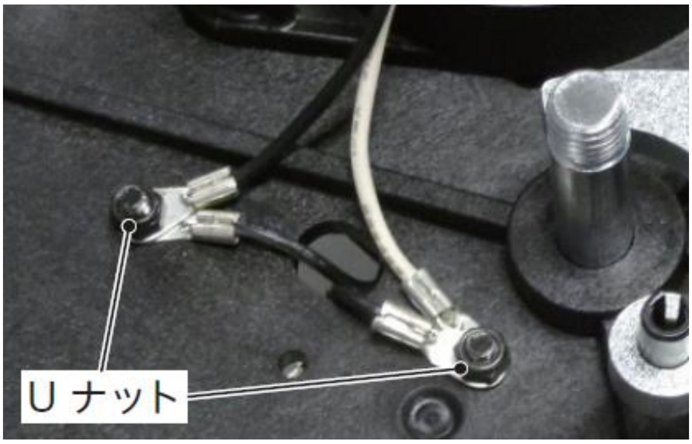


※ピンの場所を間違えますと速度制御装置のオンオフの切り替えができなくなります。

6. スプリング⇒ワッシャー⇒ボルトの順に入れてプラスドライバーで取り付けます。

7. 速度制御機構の配線をスパナ（対辺5.5mm）とプラスドライバーを使って取り付けます。
端子先端形状は2種類あり、大きい穴径と小さい穴径同士で取り付けます。





8. タイヤを取り付けUナットをソケットレンチで取付けます。
参考締付トルク　：　9[N・m]

Uナット

※ブレーキがパーキングブレーキ状態ですとタイヤが入らないのでご注意下さい。

9. 後輪タイヤ外側にキャップ（赤色）を取付けます。

脚開閉レバー一式の交換

準備するもの

□六角レンチ（対辺5mm）
□ペンチなど
□スパナ（対辺19mm）
□ゴムハンマーなど

① ブレーキワイヤーを取り外す

※メンテナンスマニュアル本編の7ページを参考に ブレーキレバーからブレーキワイヤーを取り外します。

② ハンドルパイプの取り外し

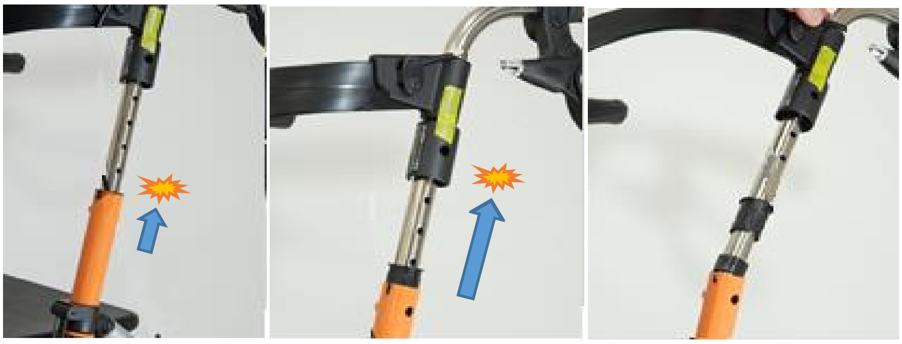
1. 高さ調節ボルトを抜きます。

高さ調節ボルト

2. 高さ調節ベースをフレームから抜きます。

高さ調節ベース

3. ハンドルフレームを持ち、上へ引き抜く動作を数回繰り返し、
ハンドル軸受を抜きます。
（図のようにマスキングテープ等で高さ調節ベースを留めておくと以降の作業が楽になります。）



③ 脚開閉レバーの取り外し～取付

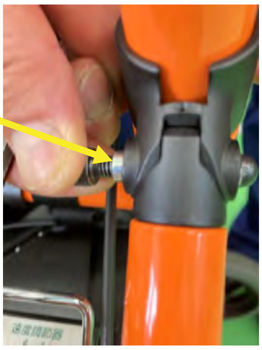
1. 脚開閉レバー部分の袋ナット部をプライヤーではさみ、

   六角レンチ（対辺5mm）で内側のネジをゆるめます。

袋ナット

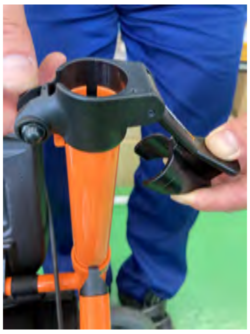
2. ネジとカラーをはずします。

カラー



3. 脚開閉レバー一式を上へスライドさせて　はずします。

   ナット部は90度回転させて取り外します。



4. 新しい脚開閉レバー一式を前述の逆の手順で取付けます。
5. ネジを締める際に袋ナットをプライヤーではさむ必要はありません。

   ネジにカラーを入れ、六角レンチ（対辺5mm）で、締め付けます。

④ ハンドルパイプの取りつけ

1. ①の逆の手順でハンドルフレームを本体フレームに
本体フレームに差込みます。

2. ハンドル軸受は、U字型の溝と
本体フレームの溝が合うように
挿入します。

3. ハンドルフレームをスパナ（口幅19mm）でおさえ、ゴムハンマー等でたたいて
ハンドル軸受を本体フレームに挿入してください。

4. 高さ調節ベースをかぶせ、高さ調整ボルトをしめこんでください。

⑤ ブレーキワイヤーの取りつけ

※メンテナンスマニュアル本編の9ページを参考に ブレーキレバーへブレーキワイヤーを取りつけます。

これで作業完了です

ユーウォーカー2　TW-320
脚固定ベルトの取付

準備するもの

□脚固定ベルト

交換部品

□脚固定ベルト

面ファスナー:メス

面ファスナー:オス

交換手順

1. 前フレームステーと座板の間に脚固定ベルトの先端を上から差込みます。
（面ファスナーの表裏に注意して下さい。）

2. 前フレームステーに面ファスナーのオスとメスを合せて取付けます。

3. ・製品使用時は脚固定ベルトを折りたたんで収納して下さい。
・製品折畳み時は脚固定ベルトで座裏パイプを固定して下さい。

製品使用時（ベルト収納状態）

製品折畳み時（ベルト使用状態）

本体のお手入れ・保管方法

お手入れ方法

○ 座面・フレームなどは、ぬれた布（中性洗剤の使用可）でホコリ・汚れを落とし、乾いた布で拭いてください。

○ 車輪に付いた泥やホコリはそのまま放置しないで、拭きとってください（中性洗剤の使用可）。そのままにしておくと、スムーズに回転しなかったり、きしんだりすることがあります。

○ 長期間使用いただくと製品の構造上、後輪内部にホコリがたまることがあります。
メンテナンスの際は、後輪タイヤを取り外し、ホコリを取り除いてください（30 ページ参照）。

⚠注意

🚫 本体に水をかけて洗わないでください。
速度制御装置ユニットおよび後輪に搭載された電子部品の故障・不具合の原因となります。
また、金属部分がさびて故障の原因となります。

保管方法

○ 直射日光を避け、湿気が少なく、雨やホコリのかからない場所に保管してください。金属部がさびて故障の原因になる恐れがあります。

○ 荷物を載せたり圧力が加わる状態で保管しないでください。故障や変形の原因になります。

○ 火のそばや高温になる場所には保管しないでください。故障や変形の原因になります。

お問い合わせ

お問い合わせの際は、事前に以下の項目を確認してください。

確認項目	メモ
型名	
品番	
製造番号 （座裏シール右上に印字されています）	
保証書の有無	
本体の状態	
交換対象品	
お買い上げ日	
お買い求めいただいた販売店	

心を形にするテクノロジー、あります。
TAKANO HeartWorks
タカノ株式会社 タカノハートワークス
■オフィス　〒399-4431　長野県伊那市西春近下河原5331
TEL.0265-72-3157 FAX.0265-72-3203
URL　http://www.takano-hw.com/